

編輯部報情閣内

# 週報

號日七十月五

第三五號

昭和十四年十月一日  
昭和十四年五月十七日

郵便物認可  
行

(毎週一回水曜日發行)



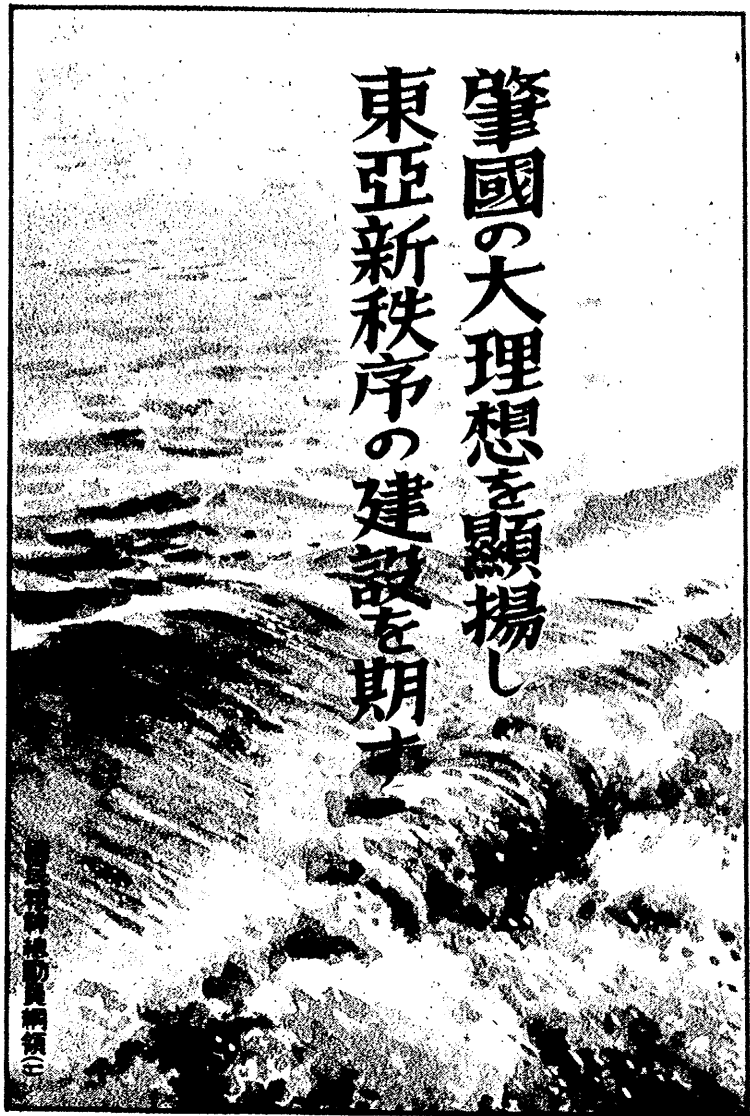
新東亞  
讀本

7 三民主義と新民主主義

東亞電氣通信政策と  
國際通信戰  
氣象學と氣象事業  
リトヴィノフ辭職の波紋

五錢

露光量違いにより重複撮影



# 肇國の大理想を顯揚し 東亞新秩序の建設を期す

目次 (五月十七日発行)

東亞電氣通信政策と國際通信戰

遷信 省：二

氣象學と氣象事業 中央氣象臺：三

列強の陸軍軍備(下) 陸軍省情報部：七

大陸戰況概観 陸軍省情報部：三

— 四 露時事情概観 —

リトヴィノフ辭職の波紋

外務省情報部：三

新東亞讀本 (7)  
三民主義と新民主主義  
新民主主義教授 三枝茂智：七

五月五日(金) (追加)

▼英國に於ける選挙動向

五月六日(土)

▼海軍省西貢黃旗中占領

▼我が海軍艦隊の南下は今や露の艦隊を凌駕し、在支露艦隊の南下は我が海軍艦隊の南下に追いつかぬ。外務省情報部は露艦隊の南下を監視し、我が海軍艦隊の南下を支援する。外務省情報部長官は、我が海軍艦隊の南下は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が海軍艦隊の南下は、我が國の利益を保護するものである。

五月七日(日)

▼リトヴィノフの辭職とチアノフの辭職

▼リトヴィノフの辭職の結果、露國の政治情勢は安定した。チアノフの辭職の結果、露國の政治情勢は安定した。

五月八日(月)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月九日(火)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十日(水)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十一日(木)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十二日(金)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十三日(土)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十四日(日)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十五日(月)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

五月十六日(火)

▼露國の選挙動向

▼露國の選挙動向は、我が國の利益を保護するものである。外務省情報部長官は、我が國の利益を保護するものである。

## 週間日誌

今週の歴

五月十九日(金) 露國選挙一周年。▼廿二日(月) 天皇陛下宮内閣演説に於て全國中等學校生徒代表三萬を御覽の御儀。

定む。

露光量違いにより重複撮影



華國の大理想  
東亞新秩序の基

目次 (五月十七日発行 第一三五號)

東亞電氣通信政策と國際通信戰 週信省...

氣象學と氣象事業 中央氣象臺...

列強の陸軍軍備(下) 陸軍省情報部...

大陸戰況概観 陸軍省情報部...

國際時事解説

リトヴィノフ辭職の波紋 外務省情報部...

幸福

本讀亞東新 (7)

三民主義と新民主義  
新學堂教授 三枝茂智

五月五日(金) 「追記」

▼米國に炭坑閉業勃發

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

▼海軍島嶼群奪取占領

▼我が海軍艦

に際しては修正中立を維持する旨共同コン

ミユケを景況

▼米國の行政改革成立

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

▼英ソ折衝

週間日誌

五月八日(月)

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

▼信陽・浙河・蘇浙

今週の歴

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

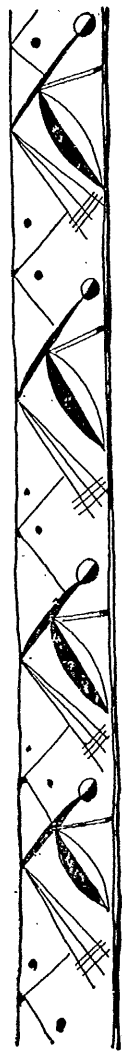
▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年

▼十九日(金) 徐州府署一周年



# 東亞電氣通信政策と國際通信戰

遞 信 省

## 一 序 言

十九世紀の科學の偉大なる所産、電氣通信機關は、  
今を去る、百年前一八三七年、米人サミュエル・モールス  
の電信の發明にはじまり、その四十年後には同じく米人  
グラハム・ベルが電話を發明し、そのまた二十年後にはイ  
タリ人グリエルモ・マルコーニによつて無線電信の  
誕生を見たのである。これらの高速度通信機關は、時間  
的に空間的に地球上の距離を著るしく短縮し、世界人類  
の相關關係を實現し、今日に於いては人類生活の神經系統  
として政治・軍事・外交・産業・貿易等、あらゆる國家活動

に極めて重要な使命を有することが廣く一般に認識さ  
れて來た。殊に世界大戰に於いては、國際電氣通信網の  
威力は情報、宣傳、作戰連絡等の分野に遺憾なく發揮  
され、一朝有事の際には一國の存立上不可欠の要具であ  
ることが明確に實證されたので、こゝに世界各國はい  
づれも對外電氣通信政策を最も重要な國策の一として  
その整備擴充に異常な努力を拂ふやうになつた。  
かくて地球上に蜘蛛の巣のやうに張りめぐらされた國  
際電氣通信網は、各國の對外政策遂行の尖兵として、複雑  
微妙な國際關係を如實に反映し、激烈な政治的經濟的闘  
争を展開してゐるのである。

## 二 海底線時代と英米の 世界ケーブル網制覇

國際電氣通信事業は、一八四九年(嘉永二年)プロシヤ  
がオーストリアとの間に官報交信を目的に陸上電信線を  
建設したのにはじまるが、四面海で囲まれたイギリスは  
早くから海底線の改良、進歩に意を用ひ、普墺開陸上電  
信線敷設の僅か二年後には、英佛海峡の横斷を試み世界  
最初の國際海底電信線を完成した。  
當時世界各國は、いづれもこれを通商と交通とを促  
進する平和の使徒と考へてゐたに過ぎなかつたが、獨り  
イギリスは電氣通信が政治上・軍事上その他あらゆる國  
家の對外活動に如何に重要な役割を有するものである  
かを洞察し、世界支配の第一歩は國際通信の支配に在り  
と、一八五一年早くも大西洋横斷の海底線敷設の大業に  
着手した。

この海底線の敷設は當時の技術では極めて困難な作  
業であつて、貴重なケーブルを海神の犠牲とすること  
も數度に及んだが、イギリス政府は、補助金を交付し軍  
艦を貸與し、その他資本的に或ひは技術的にあらゆる  
指導援助をして、十數年の苦闘の結果遂に一八六六年新

舊兩大陸の連絡を完成した。

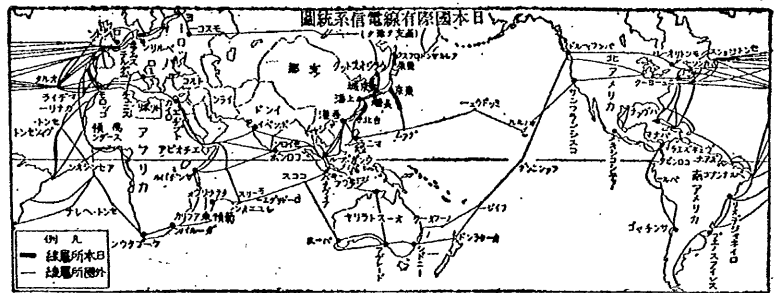
イギリスは大西洋征服を終ると直ちにその鋒先を極  
東に轉じ、一八七〇年地中海・印度洋及びシンガポ  
ルを経て香港に達し、こゝを極東進出の根據地として、  
支那・佛領印度支那・フィリッピン・瓜哇・オーストラリア  
の各地への強大な通信網を建設した。次いで一八七四  
年には速く南大洋を横斷して南米東岸に達し、また一  
八七九年から數年を出ぬ間にアフリカ大陸の東西兩岸  
もその掌中に收め、こゝにイギリスの世界海底線制覇  
の基礎は全く完成した。

イギリスがこの廣汎な通信網を動員して、平時には  
通商貿易その他の經濟活動に斷然他國を壓倒し、世界の  
言論を指導し、外交を優位に置くと共に、非常時にはそ  
の通信網を通過する外國通信の檢閲、抑留等に依つて軍  
事的經濟的に多大の利益を收めたことは史上明らかな  
事實である。

今その二、三の實例をあげると、一八九三年フランス、  
暹羅の兩國が衝突した際、フランス政府がフューマン  
提督に宛て發した暹羅に對する最後通牒を含む重要電  
報は、イギリスの大東電信會社に依つて名宛人より先に

ロンドンに報告されイギリスはそれに従つて暹羅に於ける利害關係について善慮した。また一八九四年モロッコ總督急死の際、その通信を長時間抑留し、諸種の工作を行つた後世界に發表したなどはその適例である。又歐洲大戦に於いてイギリス通信網が作戦連絡上或いは對外宣傳上如何に甚大な影響を及ぼしたかは今さら多言を要せぬ所である。

かやうにイギリスは世界各地との間に自國の通信網に依つて安全な通信を確保すると共に、一方、自國通信系を通過する他國の通信を巧みに利用して、多年に亘つて外交、植民、通商上の優位を維持して來たのである。即ち今日の大英帝國建設の基礎は、かの軍艦・商船と等しく海底電信に依つて固められたといつても過言ではない。イギリスに次いで對外海底線網の建設に着手したのはアメリカ合衆國である。アメリカは廣大な國土を有し、力を海外に伸す前に國內通信網の整備に多大の努力を要した關係から、初期にはイギリスの後塵を拜したが、一度國內に諸産業が勃興し國力が充實するとたちまち對外進出に轉じ、その巨大な資本力を以つて大西洋上に於けるイギリスの王座を脅かした。次いで南北アメリカ



兩大陸を連絡する海底線を建設し、汎米政策の推進力として之を活用し、遂にアメリカ大陸の覇者の地位を確保したのである。アメリカは更に一九〇三年サンフランシスコを起點としてホノルル、ミッドウェイ等を経てフィリピンに達する一萬四千軒の長距離海底線を敷設し、之を更に日本と支那へ延長し、極東發展の礎石とし、世界海底線總延長の約二十%を占める世界第二のケーブル所有國となつたのである。一八九七年の米西戰爭の際アメリカが對キューバ通信の實権を掌握し、

スペイン本國とキューバに於けるスペイン艦隊との通信連絡を遮斷し大勝の因を作つたのは史上有名なことであつて、世人はこの戦ひを「石炭と海底線の戦争」と稱し、世界各國に今日迄の不注意な對外通信政策を更新させる警鐘となつた。

その他フランス・ドイツ・イタリア・オランダの諸國も舉つて自國系の國際通信網の建設に努力したが、海底線が國際通信の唯一の機關であつた時代に先鞭をつけたイギリスに對抗することは容易の業ではなく、イギリスの獨占權に對し多大の代償を拂つてやうやく幾らかの海底線を得るに過ぎなかつた。

然るに我が國は日清・日露・日獨等各大戦に大勝利し、東亞の安定勢力としての地位を固めると共にますます國勢を海外に伸張したが、その先驅的施設たる通信網の對外進出は之に伴はず、僅かに東京小笠原間の對米通信線と對支連絡線の二、三を有するに過ぎず、外國通信は殆んど歐米列強の線路に頼る外ない状態であつた。

### 三 無線の發達と各國の通信自主權確立

然るに世界大戦を契機として國際通信界にも一大變革

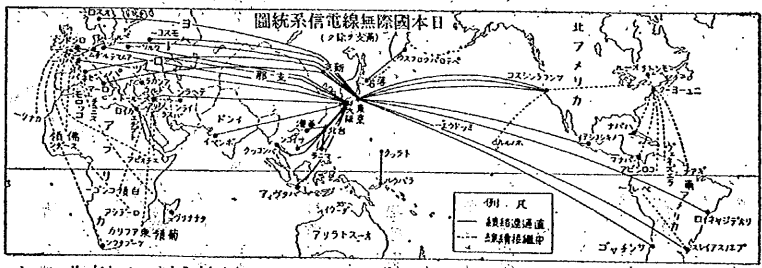
がもたらされた。無線通信の發達が即ちこれである。一八九六年イタリア人マルコーニに依つて無線電信が發明されると、久しく英米の國際通信獨占に苦汁を嘗めてゐた諸國は競つてその研究改良に全力を盡した。中でもドイツの努力は最も眞剣だつた。當時ドイツでは汎ゲルマニア主義の勃興に伴ひ、英佛諸國との衝突が不可避の情勢にあり、そのためイギリス通信網の獨占を脱し、自主獨立の自國通信網を構成することが焦眉の急務とされたのであつた。しかし英米は海底線事業に慧眼であつたと同様に無線にも決して他國に後れをとるやうなことはなく、英米獨占には無線發達の當初から激烈な争闘が展開された。

こんな各國間の競争軋轢は自然無線の發達進歩を促し、一九〇八年には早くも大西洋横斷の長距離連絡公衆業務が開始され、更に歐洲大戦勃發に依つて無線の改良進歩はますます拍車をかけられ、大戦末期には世界各地の完全な連絡が可能となり、之が各國を驅つて無線に依る對外通信の自主獨立を實現させ、大無線局が陸續として各地に建設されたのである。その後短波の出現に依つて長距離無線電信は更に飛躍的發展を遂げ、最近また

無線電話・無線電送・ラヂオ・テレビジョン等が相次いで發明され無線の國際通信界に占める地位は海底線を凌駕するに至つた。

かくして今日世界各國を連絡する國際無線電信電話回路は二千の多數に上り、これらの無線電波は外交戰・經濟戰・情報宣傳戰等の尖兵として大空に相交錯し、電波のスパークさながらの激烈な鬭争を演じてゐるのである。我が國でもこの新銳の無線に依つて對外通信の自主權を確立する方策を採り、大正十四年「日本無線電信株式會社」を起し之に政府の必要とする無線電信設備をなさしめ、又昭和七年には「國際電話株式會社」を設立し之に無線電話設備をなさしめ、政府は兩社の無線設備を使用して主要外國との間に直通無線電信電話回路を開設することとなつた。

爾來十有餘年、政府の熱心な對策と兩社の努力とに依つて、我が國の對外電氣通信は劃期的な發達を遂げ、無線電信連絡は會社の設備を使用するもの二十二回路、政府自ら設備するもの四回路、計二十六回路（滿、支を除く）に及び、對外電信の約五割六分、一日約三千五百通の外國電報がこれ等の連絡に依つて取扱はれてゐる。

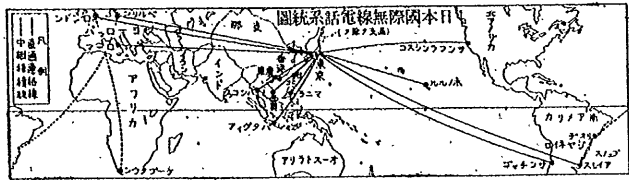


又電話連絡は會社の設備に依る十一回路（滿、支を除く）で、世界に散在する三千二百萬個の電話即ち世界總數の約九十二%の電話と接続し得るやうになつた。

なほ兩社は昨年三月合併して「國際電氣通信株式會社」となり、一段と鞏固な基礎の上に無線電信電話の綜合的擴充整備を行つてゐる。

#### 四 東亞に於ける國際通信戰

一八五二年世界最初の海底線である英佛海峽橫斷線に成功してから僅かに二十年をぬらうちに、イギリスが早くも東亞進出に着手したのは既に述の通りであるが、當時は恰も歐洲勢力の東漸が次第に熾



烈となり、太平洋が次の世界政策の中心地となるべき情勢にあつたので、ドイツ・デンマーク・アメリカ等も東亞通信の重要性に眼をつけ、相次いで自國通信權を進出

させるやうになり、歐米通信勢力は滔々として東亞圈内に流入し、東亞の國際通信は全く彼等の掌中に歸した。殊に世界の半植民地的存在であつた支那に於いては、國際通信は固より國內通信權にまで干渉し、通信顧問を採用させ、或ひは借款等の名の下に機材を賣込み更にその施設を擔保として事業を運用する等全く自家藥籠中のものとしたのである。

先づイギリスは「大東電信會社」を東亞通信政策代行機關として、一八七一年その海底線を地中海・印度洋經山の南方コースに依つて香港に到達させ、同地を中心に上海・ソリッピン・ボルネオ・瓜哇等の各地へ強力

なる海底線網を建設した。一方デンマークは大北電信會社にシベリア橫斷の北方コースに依つて日本と支那との通信路を建設させ、これ等の兩社が東亞の國際通信を二分するに至つた。而してイギリスは、デンマークと提携して支那に當るのが得策であるとし、一八九九年對外電信獨占權を獲得したのを始めとし、北清事變等の内政の紊亂を巧みに利用して支那の國內通信事業にも確固たる地歩を築くに至つた。

我が國が日清・日露・日獨等各大戰に貴い血を以つて獲得した淡水・川石山線、大連・芝罘線、佐世保・青島線等の各海底線がいつれも彼等の獨占權に觸れて、その運用上種々の制限を受けたことは特に留意すべき點である。次に無線時代に入り、先づドイツが一九一〇年北京に無線電信機を据付け、一九二四年にはシーメンス會社が支那政府との間に二十ヶ年間デレフンケン式以外の無線電信機を採用しないこと、及び通信取扱はドイツ人に限定すること等の密約を締結した。これと同時にイギリスも國內無線電信施設の特權を得ようと支那政府と交渉を開始し、英獨間に激烈な競争が演ぜられた。また一九一七年には支那交通部顧問のデンマーク人ラーセンが大無線



局建設契約を締結するに至つたので、我が國は、無線のやうな擴張性を有する強力な通信機關が第三國の獨占到委ねられるのは日支間の密接な通信關係を著しく阻害すると再三交渉の結果、一九一八年我が三井會社と支那海軍部との間に無線局設置の正式調印を行つた。

これに對しイギリス政府は自國通信權を侵害するとの抗議を提出しこの問題はますます紛糾するに至つたが、更に支那はアメリカのフェデラル無線會社と上海その他に大無線局を建設させる契約を結び、二十年間の米支無線通信獨占權を付與したので、支那無線通信權を繞る各國の競争はいよいよ激烈化し、支那無線界は全く權益獲得競争の坩堝と化した。

その後一九二七年、支那に動亂が起り國民政府の樹立を見、同政府は新たにアメリカのR.C.A.社と無線電氣建設契約を締結し、自ら對外無線連絡を開設するやうになり、他方無線技術はその間飛躍的發展を遂げ從來の長波無線は全く無用の長物となつたので、三井・マルコニー・フェデラル三社の無線通信權獲得競争は自然解消した。一九三〇年には長い間東亞の國際通信界を獨占して來た大北、大東兩社の獨占期限が終了したが、その

後東亞に於ける國際情勢が逼迫するにつれて新たな通信戰が開始されようとしてゐる。

即ちソ聯邦は極東に於ける廣大なる領土の統治、産業政策の遂行、對日軍備並びに極東赤化工作等の上から、早くから無線通信の擴充を圖つてゐたが、更に有線に依る歐亞連絡を企圖しその實行に着手してゐる模様である。イギリスも東亞の關門シンガポールに大無線局を建設すると發表し、又雲南ビルマ間の援將ルート強化の爲め兩地間に着々と電氣通信路の新増設を行つてゐる模様で、アメリカまたマニラに於ける無線網の整備擴充に努め、同地を東亞無線通信の中樞とする計畫と見られる。

#### 五 東亞電氣通信政策の確立と國際電氣通信株式會社の擴充

東亞に於ける電氣通信事業がこれまで歐米の勢力下に在つたことは先に述べた通りであるが、我が國を中心とする東亞諸民族の自覺に伴ひ、東亞の通信界にも變革が起ることは自然の理である。東亞電氣通信政策の重要性は最近に於ける東亞の新事態に即應して、充分に認識されねばならぬ。即ち滿洲事變を契機として、更に今次事變によ

つて東亞の事態は、全面的な轉回を見せ、今や我が國は東亞の安定勢力として、東洋永遠の平和と、東亞諸民族の共同福祉とを確保すべき重責を果すべく、邁進してゐるのである。この歴史的な使命の達成を遺憾無からしめる爲めには、先づ國家活動の要具である東亞各地域の電氣通信事業の飛躍的發展を圖り、將に實現の段階に入つた東亞諸國一體の新秩序生成に先驅せしめなければならない。

支那に於ける電氣通信事業は、數年間の戦政の結果、その普及發達が幼稚で、設備は粗悪な上、その制度及び組織の未熟粗笨なことは、空に想像以上であり、電話は地方的に一部の大都市内又は若干の大都市相互間に架設されてゐるだけで、電信を利用する術のない地域も今尚ほ廣大である。電氣通信事業の發達の如何によつてその國の近代國家としての發達の程度がわかれると言はれてゐるが、この言葉の正しさは、支那に於いて、實際に證明されてゐる。

支那大陸に於ける電氣通信事業の全面的普及發達を促進することは、政治、經濟活動を盛んにし、治安の確立、産業の開發、文化の向上を期する所以であつて、眞に支那再建の先驅的施設であると言はねばならぬ。従つて

東亞の指導的地位に在る我が國が、その優秀な電氣通信の技術と人と資本とを以つて、全面的援助を與へ、大陸の電氣通信事業の整備發達を助成することは、東亞通信政策の基本要目の一であらねばならぬ。而して本政策具體化の第一歩として、既に蒙疆、北支・中支にそれぞれ日支合辦の「蒙疆電氣通信設備株式會社」、「華北電氣通信株式會社」及び「華中電氣通信株式會社」が設立され、我が國は之に對し人員の融通、技術の指導等出來る限りの援助を與へてゐるのである。

我が國と支那大陸との間の電氣通信は、既述のやうに、長い間餘儀なく大北・大東兩會社の通信路に依存し、その後無線通信の發達に依つて漸く略々自主獨立の域に達したのであるが、今日でも日支間の最重要連絡路である長崎上海間三回線中二回線は大北電氣會社に屬する状態であつて、その他の區間に於ける我が國所屬の通信路は、いづれも未梢的施設であつて大陸内部との連絡を十分ならしめ得ないのである。

また我が國と滿洲とを連絡する電氣通信路は、福岡・釜山・安東を経て奉天に至るいはゆる日滿ケーブルの開通によつて、最近著しく面目を新たにしたらけれども、通

信著増の趨勢から見て、未だ兩國の連絡上十分と言ふことは出来ない。かやうな電氣通信施設では興隆アジアの新事態に即應し得ず、東亞一如の濛濛たる活動も期し難いのである。今次事變終局の目的である新東亞建設の爲めに、これ等の各地域を有機的一體として結合する爲め、迅速な電氣通信網を整備充實し、我が國の對大陸通信の完全な自主獨立を圖ることが東亞通信政策の一大目標でなければならぬ。

日滿支相互間に於ける通信が、今次事變を契機とする我が國の國際的、殊に東亞指導的地位の躍進、滿洲に於ける第二次産業五ヶ年計畫の進展並びに支那に於ける治安恢復に伴ふ政治、經濟、産業の復興等に依り急増するのは必然の趨勢で、その圓滑な疏通を確保する爲めには、今後多數の通信路を必要とし、しかも日滿支三國の緊密な特殊關係に鑑み、その通信路は常に安固確實なことを要するだけでなく、通信の秘密漏洩を嚴重に防止する必要がある。これ等の諸要求を充足する電氣通信施設としては、ケーブルを最も適當とするのである。

無線通信施設に依れば、大洋横斷等の場合に、ケーブルのやうな莫大な創設費を要せず、第三國の海底線

陸上權に妨げられることも無く、經濟上・外交上の支障も少く、容易に直通連絡を設定し得る長所があり、我が國でも大正十四年以來、無線政策によつて對外通信自主權確立に努めて來たのであるが、現在の技術では混信防遏等の必要上、使用電波に制限がある爲め、多數通信路を作成し得ない缺陷がある上、秘密保持の完全を期し難い短所がある。他方、有線も裸線は暴風雨雪の被害に依り斷線漏電等の障礙を生じ易く、安定した通信を行ひ得ない等の缺點があり、之に依つて長距離通信を行ふことは技術上、經濟上至難である。

最近の歐米諸國に於ける電氣通信網整備の狀況を見て、ドイツなどは、既に一九二二年から「獨逸長距離ケーブル會社」に國內全通信網のケーブル化を着手させ、現在完全に歐洲大陸電氣通信の中樞をなし、佛、伊兩國も亦それ／＼アフリカ植民地に對し地中海横斷の長距離電話ケーブルを建設中であり、他方アメリカでも、米大陸通信プロックの擴充強化の爲め、對西印度及び中米の電話ケーブル建設計畫を樹てゐる。

かくて我が政府に於いては、近時我が國に於いて長足の進歩を遂げ、その優秀な成績を世界に誇り得る無裝荷の適正な運営を期する反面、本事業遂行に支障なからしめるため特別の保護を加へることとし、第七十四回帝國議會に關係法律の改正案を提出し、三月二十二日兩院の通過を見たのである。

#### 六 結 言

今や支那事變は長期建設の新段階に入り、東亞新體制建設の諸政策が着々實現の緒につきつゝある。このときに方り、これ等政策の先驅たり將又推進力たる我が東亞電氣通信政策が全國民一致の支持の下に、その實現の第一歩を踏み出したのは、寔に慶賀に堪へぬ。而して、東亞諸國の電氣通信施設をして、東亞諸民族結合の鞏固なる紐帯たらしめ、新東亞育成の大動脈として遺憾無くその機能を發揚せしめんとする本政策の遂行に就いては、固より當局者の周到な用意と不斷の努力とを必要とするが、他方、日滿支官民一般の十分な理解と熱誠な援助とに俟つところ大なるものがある。

搬送式ケーブルを以つて日滿支三國の主要都市を連絡せしめる方策を樹て至つたのである。無裝荷搬送ケーブルは同一電線に幾重にも通信電流を重疊させ、少數の實線で多數の通信を同時に傳達することが出来るのであつて、極めて經濟的だけでなく、通信の明瞭度も、その傳達可能距離も、裸線や従來のケーブルの遠く及ばぬ機能を有し、東亞の新體制に相應する新銳の通信施設であつて、三國連絡に最も適當と考へられるのである。／＼してこのケーブル通信網を整備する事業はその國策的使命並びに經濟上及び技術上の要請に鑑み、日滿支を通過出来るだけ一元的に行ふ方がよい。そこで政府は通信國策會社たる國際電氣通信株式會社の從來の事業目的にも照し、同社に滿洲及び支那の電氣通信事業經營機關と密接な連絡を保ちながら本事業に當らしめることに決定し、同社の擴充に着手したのである。即ち、國際電氣通信株式會社の事業は、從來國際電氣通信専用の電氣通信設備の建設提供にあつたのを、更に國際及び國內通信に共用される國內長距離ケーブルの建設提供もなし得るやうに事業目的を擴充し、また本事業の國策的且つ公共的性質に鑑み、會社の監督方法を強化して事業



# 業事象氣と學象氣

中央氣象台



非常時の今日に於いて吾々氣象従業員の關心は何といつても軍事氣象に集注される。併しながらそれに熱中するあまり、天災の防禦や銃後産業振興、保健衛生の爲めの氣象事業に粗漚があつてはな

らぬ。今日のやうに國際情勢が緊張して、在來の知識の國際化は阻止せられ、經濟的封鎖と同様に知識的封鎖も目睫の間にせまるのを覚える。然らば、その日に備へるためには學問の應用のみに止まらず、その根本的、創作的進歩を來すべき基礎研究に努力しなければいけない。他の學問と同様に氣象學に於いてもこれは同様である。

この状態を長く続けるならば故障の續出は目に見えてゐる。更に恐るべきは、天災に對する防禦力の缺乏である。大地震、火山爆發、津浪、大暴風雨等の脅威に對しては我が國民は近來相當苦しい経験を來て來てゐる。これの豫知、警戒には萬全を期さなければいけない。天災だとして輕視出來るものではない。

大正十二年關東大震災の死者は十四萬人に及んだ。事變以來皇軍の勇士の戰死數は尙ほ幸ひにして其の數分の一である。而して吾々は非常時に於ける天災が不幸にも發生した場合に、その全國の土氣に對する影響も考慮の外に置くわけには行かない。だから吾々には非常時に於いては尙ほさら天災に對する防禦陣の萬全を圖らねばならない。

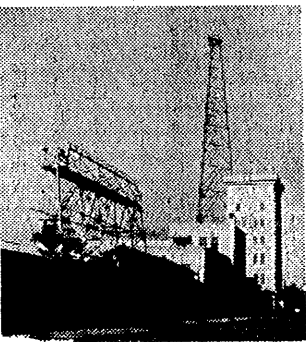
産業に關する氣象事業は統制經濟の擴大とともにますますその必要を増加した。輸入に俟つた物資の國內生産に關し

て、それが動植物資源である場合に氣候の影響が重大であることは申す迄もなく、これを考慮せざる限り新規産業も新規事業も皆必ず失敗に終るべきことを斷言し得る。鐵工業資源に對してすら氣象の拘束力は絶大である。我が國の著名な鐵山は皆自身に測候所を設置してゐるのもわかる。紡績、製紙等輕工業工場が氣候好適地に發達するの人の知るところである。冷害雪害の防止もむしろ産業氣象業務に屬する。漁船汽船、飛行機に對する氣象通報の必要なのはいふまでもない。

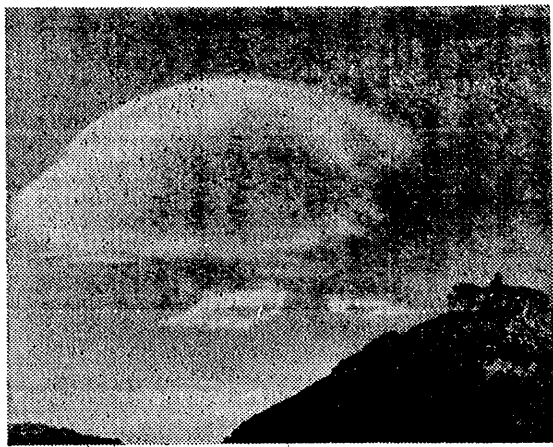
北陸地方に骨傷や呼吸器病の多いことが、その冬季の陰鬱であつて日光の缺乏するに依ること、近來注目を増したところである。冬季に呼吸器病が多く、梅雨期に胃腸病の多いのも明らかに統計の示すところであつて、衛生氣象業務の重視すべからざることを示してゐる。戦時、本

天氣を豫報することはむづかしい。その他霧の透視、霧の人工消散等が出來ればよいが、これはむしろ物理學の領域かも知れない。その他著氷とか、悪氣流とか問題は多い。

第二の方面としては豫報警報の向上である。天氣豫報及び暴風警報は在來氣象事業の中核をなしたものである。在來は



中央氣象臺



からはこれに程度を示すことになつた。即ち風にしても凡そ最高何メートル程度の風が吹くとか、暴風についても同様にその程度をいひ、温度についても最高十八度位といふやうに程度をいふのであ

る。勿論新しい研究の結果であつて、尙ほ研究改良すべき餘地は十分にある。この研究には頭のある學者を要する。

第三の方面としては學問と對しても先づ己れを知り、また他を知り、自他の環境の差を知つて始めて他の取る可きか否か、改むべきか否かを知ることが出来る。而して國內の人文氣象すらも今日尙ほ調査不完全の際であり、

これを滿洲、北中南支にまでも擴張して、新興東亞の基礎的研究材料たらしめることは容易なことではない。これには衛生氣象學の研究をも伴ふべきは勿論である。

近來國民精神の興隆とともに我が國の國民性、民族性の研究も亦盛んになつた。これに關しては多く文科的研究があるが、一方國民性に及ぼす風土の影響を自然科學的に研究することも人文氣象學の一項目であると思ふ。これらの研究は統計數學的の頭腦ある少數の學者の専攻に俟つべきものである。

第四には海上氣象學の研究である。これは在來商船等に於ける片手間觀測を材料として調査せられたものであつたが、航海及び航空の今日の狀態に對しては、専門的觀測船の研究に俟たねばならぬ。

第五には氣象學ではないが、氣象事業

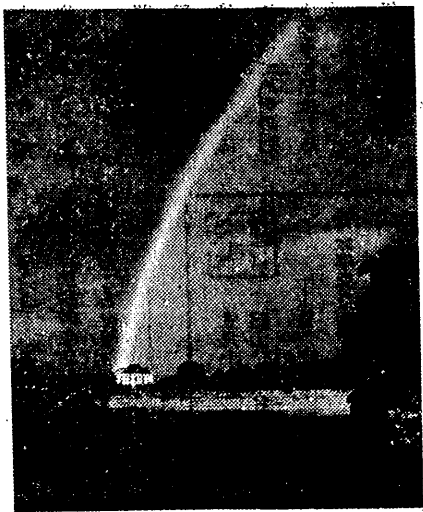
内に於いて研究實施せられる地球物理學の研究であり、その中には地震學、火山學、地磁氣學、電氣學等が含まれる。これ等の研究にはその根本的研究機關として地震研究所があるが、その應用方面は多く氣象事業者に俟つものである。

氣象學の根本的基礎的研究には如何なるものがあるかといふと、第一には大氣物理學の研究である。雷が如何して出来るか、雨が如何して出来るかについてすらもまだ充分明らかではない。航空に對する雲霧の問題を根本的に解決するには是非ともその本源に溯るを要する。著氷についても同様である。落雷についても、それが雲より下るか地より上るかさへ漸く最近に決定せられたところである。即ち初め雲から漸進的に降りて來て一旦地に達すると強力な電流が地から雲に走るものであることが判つた。勿論

この始終の事件は一秒の百分の一位の短時間内で完了するものである。無線通信に關しても大氣電氣の徹底的研究を要する。

アメリカ及びソ聯は先年來しきりに乘員氣球を使つて成層圏を探検してゐる。歐洲大戦に於けるドイツの遠距離砲彈の成層圏利用以來、應用的にも成層圏は重視せられ、成層圏飛行の夢想は實現の寸前にある。成層圏の根本的研究の必要なことは申すまでもない。非乘員氣球による探検は我が國でも早くから實施してゐるがこれだけでは充分ではない。

成層圏の上方には更に電離層があり、無線通信方面よりの

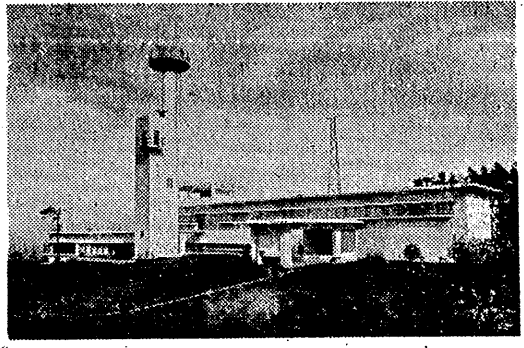


虹

實用問題をも含んで目下電離層の研究は各國ともに盛んである。我が國としてもこれに後れる譯には行かない。多少は既に實施してゐるが、尙ほ大いにやる必要がある。

大氣物理學の中、大氣熱學及び大氣動學は蓋し天氣豫報術等の根柢に横はるものである。而して大氣中の放射熱の問題は水蒸氣問題とともに大氣勢力の根本問題がある。

題である。また大気動學、わけてもその渦  
性は地球が元來迴轉體たる關係上、常に  
暴風雨等の根本問題となるのであるが、



大島測候所

この研究は故寺田實彦博士も指摘され  
たやうに、現代流體力學の根本的缺陷を

暴風雨のものであつて、これ等の研究  
も亦一日も緩うすべからざるものであ  
る。

地震及び火山作用に關する地殻物質の  
高温高壓下の研究、地電流、地殻徐動、  
地軸變位等の諸問題は地震機構の根本に  
觸れるもので、これ等によつて地震豫知  
可能の日の近づきつゝあるを思はしめ  
る。

以上の諸研究は單に氣象臺のみの能く  
するところではない。大學や研究所に於  
ける有能なる頭學の参加を俟つて初めて  
達せられるものであると同時に、各地方  
の測候所等に於ける現業者の協力も亦極  
めて必要且つ有效なるものである。ま  
た國家がこれ等に對して良き理解を持  
ち、強力な庇護を加へること以外には、遠  
成の途のないことも極めて明らかであ  
る。

氣象從業者も亦與亞聖業の一職士であ  
ることを從業者各自も一般國民も深く認  
識されんことを望むものである。

五月十七日發行  
第六十五號

目次

- ☆太平洋を我が海と  
本誌第三年、われらは益々深遠の第三十四  
回の海軍記念日を迎へるが、帝國海軍は  
幾、わが海の國防を確保し、益々の威  
容を誇る無難経緯はくろがねの巨艦に成  
輝の海軍びつ、猛躍をうけてゐる。
- ☆江南好し……杭州の初夏
- ☆訪日ガブレンツ機來る
- ☆空の轉機室  
新設の東京飛行場が誇る飛行機整備員  
一人操作室
- ☆海外通信 ☆讀者のカメラ  
内閣情報部編輯  
定價 十 錢



## 列強の陸軍軍備 (下)

陸軍省情報部

これは第三三號に述べた列強の國防上の立場、列強の現有兵力  
についてのものである。

### 三 今後の趨勢

かくの如く列強は、その速度に多少の遲延はあるが、  
いづれもたゞ軍備擴張の一途を辿り、世は將に國際軍  
擴競争時代に入つてゐる。そして今後ますます猛烈を  
極めるであらうことは左記各當局者の語るところを見  
ても十分判斷し得るのである。即ち

**ソ聯邦** 國防人民委員ワラシロフ元帥は、昨年二  
月二十三日赤軍創立二十周年記念祭に於いて、赤軍の現  
狀並びにその使命につき演説を行ひ、ソヴィエトが帝國  
主義諸國家から圍繞されてゐる事情並びに最近の世界軍  
擴趨勢に鑑み、赤軍を強化する必要を力説した後、スベ

イン内亂、支那事變等の實例を擧げて歩兵・砲兵・騎兵・  
機械化兵團・空軍の意義を強調し

- 一、赤軍は一切の軍隊を機械化し、いづれの資本主義國の軍  
隊にも劣らぬ自信を有する。赤軍は歩兵部隊を依然として  
戰爭の基本部隊とする方針を持續する。
- 一、タンク、航空機等新兵器が出現したが、赤軍は砲兵を軍  
の重要部門とする。
- 一、資本主義國家は騎兵部隊の役割を過少に評價してゐる  
が、赤軍に於ける騎兵部隊は、近代戰の必要に應ずるため  
根本的の裝備改善を行ひ、凡ゆる戰線に於ける活動を期待  
し得るに至つた。
- 一、タンク部隊の活動も支那、スペインに於ける例から見て  
將來戰に重要な役割を演ずるものと認める。
- 一、ファシスト諸國は、戰時の毒ガス、細菌使用禁止を規定

した一九二五年のジュネーブ議定書を侵犯してゐる。従つてソヴェットの國土を防衛する爲めに我々は化學兵器を強化しなければならぬ。毒ガス、細菌等の化學兵器も敵が使へば、これに報いる充分な用意がある。

一、航空隊は、スペインのフランコ軍、支那の日本軍の例から見て、職能的性質から獨立的役割を演ずるに至つたことを認め、今後ますますその充實に努力する。

等の諸件を述べてゐる。

**アメリカ** 政府は、國際的な軍擴の趨勢に應じ、明年度豫算に大軍備擴充案を計上する方針を立て、昨年十二月六日大統領ルーズヴェルトは、記者團と會見し、米國政府の新國防計畫に關し左の如く説明してゐる。

「國家の國防計畫はたとひ増税を行ふにしても、いやしくも必要が起る毎に必ずこれに應じて擴充して行かねばならぬ。尤も今後増税の必要があるかどうかは、未だ決定してゐない。政府の國防計畫の詳細は發表出来ぬが、この中には兵器並びに兵員、裝備の擴充の外にマンガンのやうな戦時に必要な原料その他の資材の貯藏案が含まれてゐる。」

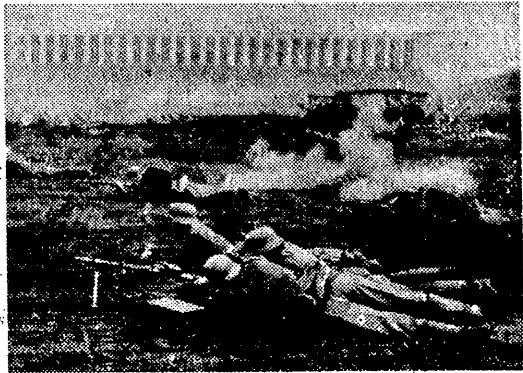
**イギリス** 下院に於いては、昨年十一月三十日、チェンバレン首相が、空軍擴充の方針を闡明して次の如く答辯し

た。

「政府の方針は、英國の防衛、その通商路の確保、海外英領の防禦並びに一旦緩急の際英領のみならず、友邦の領土防衛にも協力し、以つて國際義務を果すのに充分な空軍を建設するにある。余は去る十一月一日の下院に於いて政府は目下軍備擴充に至る第一段階として、軍備制限協定を考慮中であると説明したが、英空軍の増強政策は決してこれと矛盾するものでなく結局軍備制限の目的に貫徹するものと信ずる。」

**ドイツ** ヒトラー總統は、昨年十一月六日、ドイツ軍備の目的について左の要旨の演説を行つた。

「外國方面では、ドイツが約束を破つたことば、攻撃するが、ウイルソン米大統領が、かの十四ヶ條宣言を掲げてドイツ國民を僥倖したことこそ歴史始つて以來の最大の約束破棄ではないか。ドイツの再軍備は余が平和愛好の眞意から、ドイツ國民に對して眞の軍隊と武器を與へ、以つて諸外國に對してドイツの平和的意圖を充分徹底させるために行つたものに他ならない。尤も世間には刺をもつてゐるといふだけ、蝸を毛嫌ひするものがあるが、蝸も他の動物から危害を加へられた場合、自衛士やむを得ず刺を使つて敵を突き刺



(自大ステナ・タルペシルニョ) ドーレバ軍國

すだけなのだから、蝸が恐ければ、そつと手を觸れないで置きさへすればよいのだ。ドイツもまたこれと同様自ら國事に専心して、國內再建に邁進し得るやう

他國からうるさく干渉されることを好まない。  
**イタリア** ムッソリーニ首相は昨年三月三十日上院で無敵イタリア國軍の充實を禮讃して左のやうに語つた。

「今やイタリアの軍備は、陸、海、空三軍を通じて完備しつゝあり、世界中何人も恐れるものはない。イタリアの平和

と安定を護るものはジュネーブの幻想ではなくて、實にこの無敵軍備である。」

また同年七月九日イタリアの軍備強化に關し左の通り述べてゐる。

「全イタリアの生活は、軍事的性質を帯びてゐる。この傾向は今後ますます増大するであらうし、又さうならねばならぬ。イタリア國民は戦争と平和の諸任務遂行のため、不斷に動員されることを誇りとしてゐるのだ。」

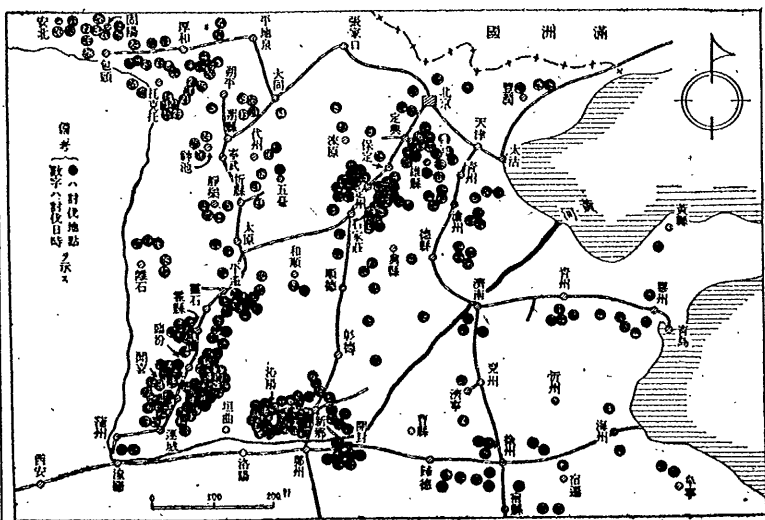
**フランス** 空相ギー・ラシャンブルは昨年十月二十二日ブチ・パリジャン紙上に於いて、フランス空軍再建案の内容を次のやうに發表してゐる。

「從來の實行案によれば、一ヶ月の航空機製造数は一九三七年度は三十八機、一九三八年度は六十二機であつたのを、一九三九年度には一撃二百機とし、常時五千の機體と一萬二千の發動機を備へることとし、これを約二百の飛行隊に分屬せしめる。而してこれは二ヶ年の豫定で完成する計畫である。」

#### 四 帝國陸軍の情勢

日清戦争當時の我が平時兵力は、七ヶ師團であつた。日露戦争の直前には十三ヶ師であつたが、戦争に際して

(部道報軍陸營大本)圖要況情伐討面方支北ルケ於ニ中月四



### 大陸戦況概観

皇軍不斷の討伐肅清によつて治安圏は著るしく擴大し軍事に併行する政治・文化・經濟等の諸工作の推進により全般的には漸次良好に向ひつゝある。けれども尙ほ全般を通じて兵匪は大略四、五十萬の多きに及び且つ蒋介石の遊撃戦強化と共産黨の思想工作とによつて、決して輕視することを許さない。

支那側の政略宣傳戰「四月攻勢」を撃破したわが軍の綜合戦果は、五月十日調査によると次の様である。  
交戦した敵の延兵力約二十六萬、主な交戦回数約四百回、敵の遺棄死體四萬五千七百、捕虜約三百その他、之に對しわが戦死者は四百十名であつた。

北支方面の四月中の討伐状況は上圖の如くである。中支方面に於いては五月初めより襄陽方向の大掃蕩戰、岳州東方、南昌南方地區の肅清が行はれつゝある。

— 陸軍省情報部 —

十七ヶ師團に擴張された。それが大正四年には二十一ヶ師團になつたが、大正十一年と大正十四年の二回に互り量的削減を實施し、滿洲事變當時は不完全な十七ヶ師團であつた。  
然るに滿洲事變の發生に伴ひ、我が國四圍の國際情勢は急轉して、國防充實は一日も忽せにすることが出来なくなつたので、十數年間放棄されてあつた國防上の大缺陷を先づ應急的に補整しようとして、昭和七年時局兵備改善案を立案した。そして昭和十年迄の繼續事業として、在滿兵力の充實、裝備一部の改善等應急の整備を實施し、尙ほこれを補綴するため、昭和十年から航空防空緊急充備計畫の實行に着手し、また昭和十一年から作戰資材追加整備のため六ヶ年四億圓を計上するとともに、五年計畫を以つて兵備一部の改善を實施することとし、焦眉の急に應じたのである。

知らない有様となり、わけでも航空兵力及び極東兵備の増強は極めて顯著となつて、彼我の懸隔は著るしく増大し、我が國防の前途も現状のまゝでは寒心に堪へなくなつた。それで軍備の均衡によつて戰禍を未然に阻止し、克く日滿兩國共同防衛の實を保障し、東亞永遠の平和を確立すべき恒久的軍備を建設すべく、昭和十一年七月漸くその大綱の決定を見たのである。  
かくして我が國は軍備の本格的充實に入らんとした昭和十二年七月七日今次事變の勃發を見たのであるが、當時の我が國內に保有せられてゐた常備兵力は約十七ヶ師團と若干の獨立部隊で、その總兵力は二十五萬であつたのである。  
事變勃發以後の諸情勢については省略するが、兎に角事變前に立案せられた軍備充實計畫は大修正を必要とする情勢になつて來たのである。即ち今後に於ける我が國の軍備は、極東に於いて或る程度戰略展開を終つてゐるソ聯に對する顧慮と、支那に於ける治安維持とを考へてかゝらなければならず、これがために在滿兵力の充實、航空防空の充備等は、特に必要とする情勢にあるのである。







のモロトフが兼任する旨を発表して各國を驚かせたのであつた。なほ、リトヴィノフの罷免された理由については、ソヴィエト政府からは健康が許さぬので辭任を申出でたと發表されたが、その真相については諸説紛々として明らかでない。

即ち、英佛方面に於いて推測されてゐるところは、豫ねてから親英主義者と見られてゐたリトヴィノフが、餘りに集團保障及び平和不可分主義に提はれて、英國との交渉に深入りし過ぎたことが、スターリン及び軍部の反對に會ひ、英ソ交渉の成立に先だつて却けられたものであるとし、またソヴィエトとしては、英國との交渉はこの邊で手を引き戦争の渦中に捲き込まれることから遠ざからうといふ魂膽であるといふ點に大體一致してゐる。なほ、ソ支交渉が停頓してゐる責任を負うたものであるといふ觀測もある。

また米國方面に於いては、目下の歐洲の危機はソヴィエトには關係のないものであるから、愈々ソヴィエトに危険が迫れば、自力に頼ることも不可能ではないとして集團保障を一擲し、同時に各國から集團保障政策の代表者と見られてゐるリトヴィノフを血祭にあげ、ソヴィエトの決意を強く印象

この點に關する各方面の觀測はリトヴィノフの退却によつて集團保障主義が擯棄されたので、却つて英ソ交渉は促進されるであらうといふ樂觀的な觀方もあるが、また、英國の一部には、獨波關係が惡化し、英佛のポーランド保障によつて、獨ソ間に緩衝地帯が出来た形であるから、ソヴィエト政府としては、今のところ早急に反ドイツの大同盟を作り上げる必要も無くなつたので、かへつて獨ソ接近の可能性が生じたと思へてゐるのは注目を惹いてゐる。

然し、ソヴィエト政府がリトヴィノフの辭職によつて外交方針には變化がないと聲明してゐるので、英佛に於いては一般に英ソ交渉は結局何等かの形で出来上るであらうと見て居り、また、十五日のジュネーヴに於ける英佛ソ三國會談も、ソヴィエトからは、新外務人民委員のモロトフ若しくは委員代理のボチヨムキンが出席することとなり豫定の通りに開かれることになつたと報道されてゐる。

なほ、豫ねてから平和不可分を主張し、英米佛ソの對日獨伊共同戦線の成立を待望してゐる蒋介石政権は、今度の英ソ交渉に對して大なる期待を持つてゐたのであるから、リトヴィノフ辭職の報に接して、非常な失望を感じてゐる

づけようとしたものであらうと觀、或ひは英佛はソヴィエトがバルチック沿岸の小國並びに極東領土の保障に反對してゐたが、リトヴィノフはこれに對するソヴィエトの主張を十分に強調しなかつたので辭職させられたもので、要するにスターリンの英佛に對する驕りに利用されたものであるといふ批評もある。

ドイツに於いては、いづれも英ソ交渉と何等かの關係があるとの觀測は一致して居り、特に、ポーランド及びルーマニアに於ける反ユダヤ勢力の間に存在するソヴィエトに對する不信用をガムフラーチするためか、或ひはスターリンが英國との同盟政策に反對であるためであるといふ觀測を下してゐる。

#### 一四

リトヴィノフの罷免が肅正工作等の個人的關係ではなく、主として英ソ交渉に重大な關係を有つものであることは、各方面の一致した觀測であるが、従つて、リトヴィノフの辭職が、目下進行中の英ソ交渉に如何なる影響を及ぼすかといふことが、各國の注目を惹いてゐるのである。

即ち、リトヴィノフの辭職によつてソヴィエトの外交政策が全面的に變更されるとは考へられぬと論ずると共に、一方に於いては、或ひはこの機會にソヴィエトの對獨政策に急變があるかも知れぬと憂へ、さらに、かくて歐洲の情勢は一段と複雑化するであらうから、無理にソヴィエトと協定を結んでも果して利益があるか否か疑問であると煩悶してゐる。

#### 一五

リトヴィノフの辭職は、その辭職について各方面に議論紛々たるの事實が示してゐるやうに、英ソ交渉の前途に對しても、種々な觀測が下されて居り、兎も角も、モロトフ新外務人民委員の下に交渉は繼續されることにはなつたが、今日までの經過に徴すれば、從來の英ソ交渉は、リトヴィノフの辭職によつて一頓挫を來したと見られてゐるのである。今後、これを如何にして轉廻するかといふ問題である。

チェンバレン首相は、五月十日の下院に於いて、從來の英ソ交渉の經過を發表し、併せて英國政府の態度を明らかに

# 新東亞讀本

目次 (前不)

一、東亞新秩序の議論について 東亞研究所  
 二、東亞百年小史 (第二九頁) 京都大学名誉教授 矢野仁一  
 三、支那の民情と民族性 (全頁の傍注) 在北京 村上知行  
 四、三民主義と新民主義 (全頁) 新東亞編輯 三枝茂智  
 五、滿洲帝國協和會とは何か 滿洲帝國協和會 黨 蔣 周  
 六、東亞資源政策小論 (第二三三頁) 東亞研究所 大上末廣  
 七、法幣の話 (第二三三頁) 支那經濟研究所 土屋計左右  
 八、新支那人物素描 (第二三三頁) 同盟通信社支那部長 横田 實  
 九、事變と中國共産黨 (第二三〇頁) 東亞經濟調査局 雪 竹 榮  
 一〇、文化協力の諸機關を語る (第二三四頁) 外務省文化事業部 米内山 庸夫  
 一、一、蒙疆の現況 蒙疆聯合委員会 最高顧問 金 井 章 二

内閣情報部編輯

本讀本の内容は、政府の解釋と全般的には一致したものであり得るものと御座る  
 ありし。

にしたのであるが、それによつて見るも、英ソ間の主張の對立は相當大きなものであり、今後の交渉に於いてこの對立を克服して行くのには、なほ大きな困難のあることが想像されるのである。

而かもなほ、リスミアニア、ラトヴィア及びエストニアのバルチック三國並びにフィンランド等の諸國に對して、ドイツは相互援助條約を提議して居り、また、トルコに對するソヴェートの接近は着々として進められ、さらにルーマニアその他のバルカン諸國に對しても、種々なる工作が開始されてゐると報せられて居り、東歐及びバルカンに於ける外交戰は、非常に複雑且つ微妙な事情となりつゝある。

折から五月六、七兩日に互る獨伊兩外相のミラノ會談に於いて、獨伊軍事同盟に關する交渉が行はれたのであるが、これに對して英ソが如何に動くか、またポーランドを初め東歐バルカンの諸國が如何なる態度を取るか、それ等によつて作り出される情勢が、歐洲の爆發を導く重大な要素である。

## 世界列國大都市の人口

世界で三十萬以上の人口を有する大都市の数は百八十で、うち百萬以上のものは三十八、二百萬以上のものも十一で、第一位はニューヨーク、わが東京は第二位、その順序は次の通りであるが、我が國からは、大阪が第八位に、更に名古屋が第二十四位に、京都が第二十八位に、神戸が第三十九位に、横濱が第五十一位に入つて、躍進日本のために氣をはいてゐる。一列國國勢發展十四年度による。

人口調査年次	人口調査年次
一、ニューヨーク (一九三〇)	二、フランクフルト (一九二九)
三、東京 (一九三〇)	四、ロンドン (一九二九)
五、上海 (一九二九)	六、モスクワ (一九二九)
七、北京 (一九二九)	八、大阪 (一九二九)
九、パリ (一九二九)	一〇、レニングラード (一九二九)
一一、フランクフルト (一九二九)	一二、フランクフルト (一九二九)
一三、東京 (一九二九)	一四、ロンドン (一九二九)
一五、上海 (一九二九)	一六、モスクワ (一九二九)
一七、北京 (一九二九)	一八、大阪 (一九二九)
一九、パリ (一九二九)	二〇、レニングラード (一九二九)
二一、フランクフルト (一九二九)	二二、フランクフルト (一九二九)
二三、東京 (一九二九)	二四、ロンドン (一九二九)
二五、上海 (一九二九)	二六、モスクワ (一九二九)
二七、北京 (一九二九)	二八、大阪 (一九二九)
二九、パリ (一九二九)	三〇、レニングラード (一九二九)
三一、フランクフルト (一九二九)	三二、フランクフルト (一九二九)
三三、東京 (一九二九)	三四、ロンドン (一九二九)
三五、上海 (一九二九)	三六、モスクワ (一九二九)
三七、北京 (一九二九)	三八、大阪 (一九二九)
三九、パリ (一九二九)	四〇、レニングラード (一九二九)
四一、フランクフルト (一九二九)	四二、フランクフルト (一九二九)
四三、東京 (一九二九)	四四、ロンドン (一九二九)
四五、上海 (一九二九)	四六、モスクワ (一九二九)
四七、北京 (一九二九)	四八、大阪 (一九二九)
四九、パリ (一九二九)	五〇、レニングラード (一九二九)
五一、フランクフルト (一九二九)	五二、フランクフルト (一九二九)
五三、東京 (一九二九)	五四、ロンドン (一九二九)
五五、上海 (一九二九)	五六、モスクワ (一九二九)
五七、北京 (一九二九)	五八、大阪 (一九二九)
五九、パリ (一九二九)	六〇、レニングラード (一九二九)
六一、フランクフルト (一九二九)	六二、フランクフルト (一九二九)
六三、東京 (一九二九)	六四、ロンドン (一九二九)
六五、上海 (一九二九)	六六、モスクワ (一九二九)
六七、北京 (一九二九)	六八、大阪 (一九二九)
六九、パリ (一九二九)	七〇、レニングラード (一九二九)
七一、フランクフルト (一九二九)	七二、フランクフルト (一九二九)
七三、東京 (一九二九)	七四、ロンドン (一九二九)
七五、上海 (一九二九)	七六、モスクワ (一九二九)
七七、北京 (一九二九)	七八、大阪 (一九二九)
七九、パリ (一九二九)	八〇、レニングラード (一九二九)
八一、フランクフルト (一九二九)	八二、フランクフルト (一九二九)
八三、東京 (一九二九)	八四、ロンドン (一九二九)
八五、上海 (一九二九)	八六、モスクワ (一九二九)
八七、北京 (一九二九)	八八、大阪 (一九二九)
八九、パリ (一九二九)	九〇、レニングラード (一九二九)
九一、フランクフルト (一九二九)	九二、フランクフルト (一九二九)
九三、東京 (一九二九)	九四、ロンドン (一九二九)
九五、上海 (一九二九)	九六、モスクワ (一九二九)
九七、北京 (一九二九)	九八、大阪 (一九二九)
九九、パリ (一九二九)	一〇〇、レニングラード (一九二九)



# 三民主義と新民主主義

三枝 茂 智

## 一 氣迷ひ状態の中國青年

我が國に於ける共產主義思想家や實踐家が行詰つて轉向を餘儀なくされた場合、彼等は大體心神喪失の状態に陥り、如何に舵を取り直すべきかに暫く迷ふといふことである。

國民黨政權の三民主義的黨化教育に驅りたてられ、この主義の内に救國の光明を認め、中にはこれに強い熱情を寄せ、これを實踐にまで移して來た中國青年としては、東亞新秩序の黎明とともに起ち上つた北京臨時政府、南京維新政府等の治下に、昨日の是も今日の非となり、去就に迷ふのも無理からぬことであり、われわれは同情を以つてこれを視るものである。かやうな状態か

ら彼等を救ひ出すことは、唯に東亞の志士仁人の責務であるばかりでなく、滿洲事變を以つて告げられた世界大維新の動向、はたまた東亞新秩序建設運動の擔任者である日本國民の當然の責務でもあるのである。

## 二 三民主義の素材

廣東地方はいはゆる客家子弟が多敷居住し、革命思想が鼓動した地方であり、最初の開港場として近世歐米思想が鯨波をあげて之に拍車をかけた地方でもあつた。此處で呱呱の聲を揚げた孫逸仙は太平天國を夢見た長髮賊の亂の首魁、洪秀全の後繼者になるやうにと父兄から教へられて成長した。そして洪秀全を鼓舞したものが基督教であつたと同じ意味で、この革命兒を鼓舞し

たものは、近世歐米政治思想の民族主義、民主主義、社會主義であつた。彼は終局の革命が未だ成らない内に志を抱いて不遇に斃れたけれども、滅滿興漢を旗幟とする辛亥革命の首領として、また北伐成功後の國民黨の新偶像として、過去四十年間の支那の歴史を纏めてゐる。併し彼は専門が醫者であつたし、革命實行家として東奔西走寧日も少かつたので、泰西政治思想をそのまゝ丸飲みにし、匆忙の間祖國の現状に照し、多少の手加減を加へるといつた程度に止まつた。

革命を通して支那を近代國家に向上せしめたのは彼の把握したいはゆる三民主義であり、支那事變を誘發して國民黨政權を今日あらしめたのも亦孫文の三民主義である。この點に中國青年の現在の思想的混亂の契機がある。従つて三民主義を檢討するには、その素材又は三脚柱とも云ふべき、近世西洋史に幅をきかせた泰西政治思想の根柢たる民族主義、民主主義、社會主義又は共產主義を先づ検討せねばならない。

## 三 民族主義

本來民族主義とは、人種、言語、宗教の同一、地理的經濟的單一性、同一皇室の推戴、歴史傳統の共通、風俗習慣の一致等の要件を具備する群團即ち民族が、一國家を形成すべしとの主張を意味するものであつて、過去の四、五世紀間、世界歴史に異常な波紋を織り出したものである。この主義は最初の間は部分社會である封建制度と戦ひ、中頃は排民族主義大帝國の正統主義と戦つて、民族國家實現の推進力となつた。二十世紀の黎明に當つて、國際無政府状態を世界協同體の内に解消せしめようとする國際主義と對抗するに至り、この主義は一見その歴史的使命を終つたと考へられたが、尙ほ中國の辛亥革命、世界大戰後に於けるポーツランド、チエツコ、スロヴァキアの誕生、而して最近ヴェルサイユ條約體制の黄昏に乗ずる大ドイツの創造等に躍如として働いてゐるのである。

しかし民族主義は皇道家族國家である日本のやうな、純粹な形式と内容をそなへて居らず、實際上は多數の國に於いて積極的又は消極的の變容を受けてゐる。即ち英・米・佛・露の四大既成帝國主義は、或ひは三三、

或ひは數十の異民族を抱容し、しばしばその民族主義を抹殺してゐる。この四ヶ國を合する時は既に世界の面積及び人口の四分の三を占めてゐるのである。更に辛亥革命後の支那も五族協和であり、歐洲大戦後民族線に沿うて政治國境線を引かうとしたパリ平和會議の努力は殆んど失敗に歸した程で、民族主義は實際上多くの變容を受けてゐるのである。

その上、模範的民族主義國家と、積極變容的民族主義國即ち帝國主義國と、消極變容的民族主義國即ち半獨立國、半植民地等が雜然と併存する國際社會に於いては、生活運営上の順逆に従ひ、同盟と抗争關係とが同時に發生するのを免がれ難い傾向にあるから、軍事同盟、政治集團、經濟ブロック等が相繼いで結成され、民族主義が獨自の力を發揮することは寧ろ少ない。民族主義は先天的に共同生存意思に結ばれた自然の力強い存在ではあるが、全一な最終の實在體とは言へないのである。

#### 四 民主主義

原子論的個人主義を背景に持つた君主專制が少數貴

族、僑僑等に依存し、苛税苛役を以つて民に臨み、その反動として同様に原子論の立場に立つた人民に遠心力が働けば、民族國家に於いてさへ「大洪水」の來ることはフランスの專制君主でも氣づかないわけには行かなかつた。こんな社會狀態の中にルソオの民約説が生れ、自由平等と民権とを説いたのは當然で、その結果フランス大革命となり、帝制は倒れて共和政治の下に第三階級即ち庶民階級が法律上の自由平等をかち得るやうになり、イギリスの政治史とモンテスキューの學說から立憲政治と普選選舉と議會政治が生れて來た。フランス革命の影響は全歐洲に及び、排民族主義國家のオーストリア、ハンガリー、トルコ等では、民主主義は民族主義と合體して正統主義と戦ひ、成熟植民地では本國からの獨立が加速度的に實現された。

泰西君主專制の反動として意義のあるこの民主主義は、個人主義、自由主義特に經濟上の自由主義、従つてまた四海同胞主義とも相通するものであつて、國々にはゆる資本主義を發達せしめ、その反動として労働者問題、階級闘争を擡頭させた。四年に一度數量に相談するとい

ふ議院政治は行政の推進力を極端に弱め、その上之に多數の制動機を装置したから、激成されて行く社會問題の前に行政は著るしく不感症となつた。そこへ國家の内部的崩壞や國際的地位の墮落に對する憤激、敗戦後の屈辱的講和の極端から蟬脱しようとする武者振るひの激動に遭つて民主主義は頓落したのである。

その結果、創造力に富み、二十世紀の今後の世界歴史の上に重要な役目を演ずると思はれる獨逸、伊、スペイン等に於ける強權全體主義的獨裁政權の擡頭となつた。民族國家の本質によく合致すると思はれるこの全體主義は、民族精神を高翔せしめつゝ、民主自由思想や社會主義を揚棄し去つたのである。人類文化史に於いて重要な使命を果したつた民主主義は決して萬病應應丸ではなく、全然廢れるものではないにしても、最早その創造力の時代を過ぎたと見て大過ないであらう。

#### 五 社會主義

民主主義は一應政治上の自由平等を齎したが、社會主義はその自由平等の基礎の上に經濟上の自由平等を

招來しようとして期してゐるやうである。社會主義の萌芽は人類の倫理思想、社會思想と同様古いのであるが、之に科學的性質を加へ新興第四階級による社會革命の性質を帯びさせたものが、資本集中、階級闘争、無産階級の勝利、生産手段の共有、労働階級の國際主義、唯物史觀等を説いたマルクスの共産主義である。

著るしく不健全な帝國露國が敗戦の際、一羣の猶太系の不遇な知識人がこの主義によつて無智の大家を驅り立て、食物、土地、平和を約束することによつて共産革命に成功したが、その結果はどうか、ソ聯の現狀がこれを物語つてゐる。人類、國際社會、國家、民族、階級、個人等が與へられた儘のものである以上、ロシアでも共産主義といふ平論理は徹底的に變容され、國家資本主義にならざるを得なかつた。宇宙法則から餘りかけ離れたイデオロギイを實踐した結果は大體こんなもので、そこには内容のないたゞの法律上の自由平等さへも無いのである。他の諸國では帝國主義、民族的偏見、各種労働組合の相剋等の制約の下に共産主義が修正されて社會民主黨の政治的社會主義となり、社會政策的立法を發達さ

せた。之に飽き足らなかつた労働者は地方毎に、工場毎に同盟罷工、怠業等の直接行動に出たが、之は産業的社會主義と呼ばれた。

この葛藤を解消しようとする一時、勞資協調やギルド社會主義等も唱道されたが、その歸趨がはつきりしないうちに前述の強權全體主義が極頭して、過去一世紀に互る妖魔、唯物的階級闘争主義を、民族我と云ふ全部の内に解消させてしまつた。にもかゝらず傳統や環境が民主主義、社會主義を強く必要とする國々はいはゆる人民戦線とか、民主主義戦線と云ふ國際主義を標榜して、全體主義國家戦線即ち現狀打破戦線と對峙してゐるのが現況である。全體家族、皇道國家とも云ふべき我が國がこの後者と同一の世界觀に立つて、堅き防共協定の紐帯に依つて結ばれてゐることは既に人の知る所である。

### 六 以上三主義の交渉、制約、救済

世界歴史特に西洋史に顯著な足跡を印して來た以上三つの主義は各、歴史的使命を異にしてゐる。しかし三者は往々時間と空間の上に於いて一部重複して適用され

るから、理論上も實際上も複雑な交渉を持つてゐる。特に二十世紀初頭の支那のやうに、國民が無教育の散砂であり、被搾取半植民地に專制の清朝が君臨し、次いで封建的軍閥が割據するに至つた社會では、國內的には革命と統一との爲めに、國際的には完全獨立の爲めに、民族主義が戦はねばならなかつた。その際には民主主義も亦併行して高翔することが是非必要とされ、社會主義も亦民主主義の後衛となり、外國の資本主義的搾取に對して挑むこととなつたのである。

こゝで注意すべきことは、卑見に依れば、民族協同體全部の問題を取り上げる民族主義が衆庶の參政權を要求する民主主義、無産階級の經濟問題を取り上げる社會主義よりも優位に立つべきことである。この理論の歴史的に正しいことは民族主義の内外に對する要請を堅く抱きしめた全體主義強權指導者國家の極頭に依つて明證されてゐる。

凡そ社會は無限に複雑で、云はゞ立體的構造を持つてゐる。而して以上の三主義はいづれもその一斷面に安當する平面論理に過ぎない。故に民主主義、特に自由主

義に偏すれば無政府に近くなり、社會主義に偏すれば勞働至上主義、無産者の獨裁、産業の剝奪となり、民族協同體を危殆ならしめるに至る。民族主義も亦之に偏すればかの民族自決主義の如く到處に衝突を惹起するのであつて、スコットランドは英帝國から獨立しない方が賢明であると云へる。また屈指の理想的民族國家であつても孤立しては、超帝國主義、同盟關係、集團關係の亂立する世界に於いては、自己を主張することが困難となるであらう。

そこで前述のやうに、民族主義は眞正の國際主義、特に具體的國際主義に導かれなくてはならない。即ち民族主義、民主主義、社會主義は正しい序列に置かれ、全體主義、眞正の具體的國際主義に導かれ、加ふるに中庸の道を以つてし、一切の聖智經驗に照らして適確に把握され、その上環境に關する正しい認識と相俟つて效果的に適用されねばならない。日本政府當局が三民主義は修正されなくてはならないと云ふのは、その素材である世界史上又は西洋史上の三主義が以上のやうに正しく把握され、援用されなくてはならないと云ふ意味に外なら

ないのではなからうか。

いま吾人は一應この方面の研究を終へたから今や中國革命史上の孫文主義の正誤の問題を又を迎へて解決することが出来る。因みに北支臨時政府が三民主義は端的に否定されなくてはならないと云ふのは、三民主義の名を冠して黨國の政綱に纏められた孫文主義についてさう云ふのである。

### 七 三民主義(寧ろ孫文主義)とその排撃

支那の古典及び歴史には民族主義、民主主義、社會主義が、科學的に演繹されてはゐないが、何れも克明に現はれてゐる。しかし祖國を知ることの淺かつた革命實行家



孫文は、民族、民權、民生の三民主義を編出するに當つて、その出典をフランス革命の自由、平等、博愛の

思想、あるひはまたアメリカのいつさいがつさい人民と云ふ全民主義に求めた。勿論孫文の言ふところが一から十まで誤解で充ちてゐると云ふのではないが、彼のこの出發點は西洋思想心醉に過ぎてゐる。その爲めに舊道徳の恢復を叫びながらも、東洋の香定、舊物破壊の傾向から、延いては歴史傳統、さらに民族主義そのものの否定の類を作つてゐる。

自國民を「一片の散砂」であると貶して、民族精神の消滅を慨き、「日本の民族主義精神が旺盛なために、日本人ばかりでなく亞細亞人全體を白人が輕視し得ないやうになつた」と力説したのは正しい。併し、共產組織とソヴィエト制度を中國に適用することが不可能なのを認めながら、國共合作のため、民生主義の言を並べて共產主義に一致させ、ソ聯代表に對し「ソ聯の軍隊は中國の利益及び必要上、外蒙から撤退するに及ばぬ」と聲明したのは民族主義に對する裏切りである。「ロシアを除く、現在の世界に於いては二億五千萬人が十二億五千萬人を支配してゐる。今後の世界には公理と強權、被壓迫者と横暴者との階級戦争が展開され、白人と白人、黃種と黃種

と相合して戦ふであらう。」と云うて、聯軍容共を第一位に置き、之を大亞細亞主義と命名し、「之と合作して東洋王道の干城となれ」と日本に懇切してゐるのは脱線も甚だしいと云はねばならぬ。

彼は自分の國を「半植民地、全植民地ならまだしも、一國も保護する者もない入會地、即ち次植民地（次長、次亞憐の次の意味）である」と憤慨しながら、ソ聯を外蒙に曳き入れ、當時尙ほ長春以北に蟠居してゐたソ聯に自國を引渡し、その結果日本をして餘儀なく門戸開放主義の障壁を越えて、大陸に進出せざるを得なくして置きながら、その上で我が方を阻止しようとする日興邦を意圖し、聯露容共に加へて、歐米依存、聯盟依存、以夷制夷に乘出し、結局歐亞滅亡の陋策に墮して行つたのは、折角の救國主義を亡國主義に變改したものと云ふべきである。「世界弱小民族を扶けて、列國帝國主義と抗争する。」などは、支那の現狀に照して民族主義のドンキホーテであると言ふべきでない。

フランスの今日の政情を見るとき、ルイ十六世が果してあの刑戮に値したか、血で血を洗ふ大革命を通じて

てフランス人は果して自己實現と興邦とを勝ち得たかどうか疑問を懐かない者があらうか。しかし歐米心醉者孫文は「自由は國家の自由を求める民族主義であり、平等は人民の政治的地位の平等を求める民族主義であり、博愛は四億萬人の幸福を求める民生主義である。」と前提し、進んで「大衆は帝王なり。」とまで煽動的言辭を弄した。彼は、人民に選舉權、罷免權、創制權、複決權を含む政權を認め、その監理の下にある政府に司法權、立法權、行政權、考試權、彈劾權を含む治權又は政府權を認めた。

しかしこの泰西立憲政治の公式は支那の實情、特に黨國の強權獨裁の要請に合はなかつたので、彼は人の能力に先知先覺、後知後覺、不知不覺の別のあるのを認め、「天生の不平等は、能力に應じて服務すると云ふ、道徳心の發揚に依り平等になる。」と論辯を弄して權力者を正當化した。彼は更に軍政期、訓政期、憲政期の別を認めることに依つて、この論辯に對する大衆の反撃に備へてゐる。

この民權主義は、清朝や封建的軍閥と國內的に戦ふに

際しては、民族主義の國內的要請と一體になつて働き、効果をあげたことは事實であるが、他面に於いて農民労働者、學生等を匪圍化せしめるのに役立つた。想ふに民權思想は支那に最も古くから萌芽を出してゐるものであつて、孫文の引用するやうに孔子は「大道行也、天下爲公」と云ひ、孟子は「民貴、社稷次之、君爲輕」と云うてゐる程である。

併し支那にはもつと高次な體系づけられた王道といふ政治理想がある。實用向に歪曲された王道は篡奪者である英雄的帝王の君權と大衆とを結び付ける爲めに利用されてゐるが、眞正の王道は聖者と聖者との交替政治を意味し、決して個人主義を背景とした君主專制でも、數量の專制でもなく、質量の精神的結合とも云ふべき全體主義の理想的形態である。歐洲社會を混沌瓦解に追ひ落さうとしてゐる猶太系の民權主義に隨喜して生れ出でようとする全體主義と生きた王道とを把握し得なかつたのは孫文の後知後覺たる所以である。日本の民族精神を讀み取る彼は、皇道を離れて日本の民族主義の存在しないことを確知すべきではなかつたか。然るに彼は一律に、



民権時代は即ち君民闘争時代であつて、その結果は君權の消滅に移るとしてゐる。我が世界に冠絶せる國體と彼の民権主義とは決して兩立するものではない。彼の黨國が人民戦線、民主主義戦線に属して排日を事とするのは決して故なしとしないのである。

王道の實踐的内容としての民生主義は、眞聖賢の書にも歴史にも現はれてゐる。然るに孫文のそれは依然として舶來品である。彼に従へば民生主義の目的は民有、民治、民享の全民政治を布くにある。彼に従へば地權平均は土地差増税の原理を應用したもので、地價差増の國有化を企圖したものである。彼に従へば資本節制は獨占又は大規模事業（銀行、鐵道、航路）に限り國營とすべきことを提唱する。彼に従へば人民生活改善は農事指導、保護主義による産業の勃興、土木事業の計畫的實施、教育の普及、救貧保健事業の實施を意味する。

以上彼の説く所は修正派社會民主黨の説く所であつて、彼が「マルクス主義は中國に行ふべからず」と云つたのと一致する。然るに失意の政略家たる彼は、民族主義の基礎的要請を無視し、ソ聯勢力利用の爲め、ヨッフエの締結

した露華條約の廢棄に隨喜し、中國の國內統一、國家獨立の爲め露國民の同情と援助を依頼し、露軍は外蒙から撤退するに及ばぬとして、外蒙を露露容共の人質とした。

こゝに於いて彼は全く政治屋の本領を發揮し、「民生主義は即ち共產主義であり、社會主義でもある。故に我等は共產主義に對し民生主義と相衝突すると言へないばかりでなく、實に之れは一良友である。……國民黨が共產黨に反對する理由は何處にあるか。」と述べ、「民生主義は民生の理想であり、民生主義は共產の實行である」と云ふことが出来よう。故に結局この兩主義には何等區別はない。」と説くに至つた。かくてマルクスはルソオ・孔子と聖を争ふことになり、彼の民族主義は正反對の共產主義即ち階級的國際主義の蹂躪する所となり、少額の鉄砲、金錢に替へて中國は露人顧問を含む共產黨に引渡された。

この頃日本が資本主義的財閥と自由主義的政黨とを容れた金魚鉢のやうなものとなつてゐなかつたならば、吾等は現在もつと順境に立ち得たであらう。それは兎に

角として孫文の死後彼の學説は全く定型化して順應性を失うて行つた。武將である蔣介石が今では偶像となつた孫總理の遺訓を改變し得ようはずがない。國共は一度離れたが昭和十一年末の西安事件を契機として一層堅く提携した。そこで革命を東方に於いて決すると云ふレーニンの言の通りその銳鋒はソ聯と對蹠の原理に立つ我が國を始めとし、歐米帝國主義國に向はざるを得ない。北伐軍は最初英帝國主義との間に火花を散らしたのであるが、孫文主義の背景をなす歐米追隨、東洋否定の精神、歐米帝國主義國及び國際聯盟の東亞領導、山東攻略後の我が國策の分裂及び歐米追隨は、この打倒帝國主義の銳鋒を専ら我が國に集中させた。この傾向を不退轉にしたものは第七回コミンテルン大會の「日本とドイツへ攻撃を集中せよ」との指令であつた。孫文主義、國民黨政綱は聯露容共、歐米依存、聯盟依存、以夷征夷、遠交近攻、抗日、排日、毎日、結品した。孫文主義の實踐は滿洲事變、支那事變を産まざるを得なかつたのである。

かやうに孫文主義は、理論上實際上二重に歪曲された一點の創意もないものであつたにもかゝらず、黨國

の黨化教育、排日教育に依つて徹底的に社會各層の間に浸潤して行つた。日本の人口的、經濟的、政治的壓迫を高調して、民族精神の高揚統一、特に軍隊の中央化を圖つた。今迄の軍閥の衝突、即ち内亂は前哨戦で片附いたものであるが、現在は反將側の一つとして有力な軍閥がなく、黨國は地方政權に墮しても尙ほ中央的勢力を保持してゐる。第五中全會には共產黨は勿論第三黨、中國青年黨、國家社會黨も之に参加したと傳へられ、敗戦の場合に認められる遠心力の動きを認め得ないのは奇とするに足りる。臨時政府、維新政府等の軍隊は未だ起ち上るに至らない。従つて現在の支那事變は中國に取つて全く空前の民族戦争となつてゐると認むべきである。しかし滅邦滅種を招來する爲めに支那の民族主義が嘗てない程高翔してゐるとは、何と云ふ皮肉であらう。東洋人全體は覺醒しなければならぬ。

#### 八 新民主義へ

孫文主義は世界の赤化、世界の歐洲化、西方東漸に役立ち、驅日興邦を意圖しながら、後門からソ聯勢力と歐

米勢力とを引入れて半植民地であることを強化し、結局支那に取り滅邦滅種を招来することとなるのであつて、自國の存立を全うし天壤無窮の皇運を扶翼すると共に、東洋的東亞保全の使命を自覚し、東亞の安定勢力を以つて任ずる帝國の決して黙視し難い所である。

孫文主義に一面無害又は當然の部分があらうともそれは一點一畫と雖も彼の創意ではなく、他面彼の體系は、東亞六億の大衆の物心兩方面に餘りにも危険な微菌を感染させてゐるのであつて、吾人は新中國政府と共に之を全然抹殺し去らねばならぬ。吾人は繰返して云ふ、支那革命史上の孫文主義は端的に否定されねばならぬ。西洋史上の民族主義、民主主義、社會主義は正しく把握され、十全に認識された環境に有意義に適用されねばならぬ。

北支臨時政府が孫文主義を否定した後、之に代るべき新中國の指導原理として標榜したものが新民主主義である。従つて新民主主義は、吾人が孫文主義と、その素材である西洋史上の三主義について批評し、排撃した點に於いて、孫文主義と正反對の見解を採るものである。たゞ

新民主主義に就いては今日まで公表された有權的解説がなく、僅かに新民會中央指導部刊行の新民主主義論叢に中央指導部長穆斌氏の論文が載せてあつて、一部公人の意向を窺ふことが出来るに過ぎない。

卑見に依れば新民主主義といふ言葉は、内容が今迄で幾述して來た理由によつてその内容が複雑多岐に互り、争點が機微の點にも觸れる爲めに到底一語を以つて内容を明示することが出来ず、之が爲めにモノロー主義、ヒットレリズム、山嶽黨、政友會等のやうに、僅かに符牒として撰まれた言葉であると解さなくてはならない。

従つて新民主主義の内容はその出典や穆斌氏の説ばかりでなく、新中國政府、特にその親権者たる帝國政府の屢次の聲明、それに孫文主義排撃理由等から體系づけられねばならぬ。然らば新民主主義の内容は何であるか。

#### イ 東洋精神への復歸

新民主主義なる語が東洋政治哲學大系とも云ふべき大學の「明德新民」又は「作新民」より出たことは明らかである。これが新民主主義則王道と云はれる所以である。穆斌

氏は進化論に性善説を配し、善者即ち優者が天理の命ずる所に従ひ、惡者即ち劣者に打ち克つて人類を向上せしめて行く道程を新民史觀と名付け、之に則して生活するを王道と云ひ、之を以つて新民主主義の基礎とした。それは兎に角として、大學が帝王及び社稷の臣を主體としてその政治道德の理想を述べたものであることは疑ひない。

而してその説く所は克己復禮を根本として修養の工夫を敘述するにある。第一の克己は格物即ち私心を去ること、致知即ち本然の良知を發揮すること、誠意即ち勵み行ふこと、正心即ち邪念を去ること、修身即ち人格を修むることの五項目を實踐することである。第二の復禮は齊家即ち人倫を正し男女各その本分に從ふこと、親郷即ち地方自治に於いて親を親しむの道を以つて民衆の教化醇風の發揚を計ること、治國即ち禮治徳治を實行して産業を起すこと、平天下即ち萬物に所を得せしめて國內的及び國際的平和を計ることである。尙ほ大學に「日新日新」とか、「命維新」などあるのも王道實踐に依り陳套を去り、陋習を改め國家を興隆さすさまを述

べたものである。

前述のやうに王道は帝王や輔弼の大臣の修養を説いたものであつて、その結果、政治の客體たる人民が新らたにされて行くことを豫想してゐるのであるが、文化が向上し、教育が普及するに連れ、或ひは參政権が認められ、或ひは共和制が實施され、萬機が公論に決せられる世の中となれば衆庶が智を磨き徳を修めて、或ひは皇權に對し奉り萬民輔翼を致し、或ひは民衆政治家となつて抱負を伸べねばならないのである。新中國に於いても辛亥革命の成果は之を維持する既定の方針である以上、各人は自己の價値を實現することに依り興邦に獻ずるし、また興邦を通じて自己實現に資すべきであつて、この萬民に依る王道の實踐を「新民」と云ふ文字を以つて表はしたのは機宜の措置といはねばならない。

革命兒孫文の理論及び實踐が東洋否定の歐化主義であつたことは既に述べた。然らばその否定である所の新民主主義が東洋傳統精神への復歸であり、東洋文藝の復興、東洋政治道德の高翔を意味することは云ふまでもない。このことは新民主主義が東洋意識に立つて泰西の文物を取

り容れて焚燬とするのを毫も妨げるものでないことは勿論である。新民主主義は復古的創造的進歩を意味するのである。北支臨時政府が東洋固有文化の發揚を提唱し、「東亞文化評議會」が生れ、歐米派に代つて東洋學者親日家が百政の衝に當ることとなつたのは新民主主義の動向を充分に示すものである。

#### □ 東洋中道全體國家主義の發揚

近世西洋史に現はれる三主義のうち、民族主義が優位に立ち、功利的個人主義を背景とする民主的自出主義、唯物的階級闘争主義がその下位に立つべきことは既に述べた。この後の二者がその登場前の社會狀態の反動として生れ、既に一應その歴史的使命をその公認する限りに於いて果した後、政府の無權威、國家の解體の動向にその弊害を遺憾なく露呈して底止する所を知らなかつたとき、この弊に苦しむこと最も深く、而かも國歩困難でその弊害から速かに解脱する必要に迫られてゐた國々に於いて、理論よりも實踐に秀でた老兵の鐵腕に依つて強權全體主義國家が登場した。即ちドイツはナチズムを

通してヴェルサイユ條約の桎梏から、イタリイはファシズムを通して國內的分裂と國際的輕侮から龍騰して來た。之は要するに民族主義の國內的要請がその下位に立つ民主主義、社會主義を超越揚棄したものである。畢竟に依ればこれは全く必至の約束である。視よ外道ソ聯邦でさへ國土經綸の爲めには、理窟は何であらうと、一國社會主義に轉じ、社會主義者の愛國心を煽らざるを得なくなつてゐるではないか。

然るに新民主主義の古典的名稱である王道主義は、儒教の經典でいくらでも立證しうるやうに、決して君主專制でも墮落した民主政治でもなく、精神的價値の威望と、民本精神即ち量の財や力とを、適當に化合せしめたもので、力よりも徳を高調するに傾く外、全く全體主義と同一であり、しかも永續性に富んだ理想的典型と呼べるべきものである。藤澤親雄教授も「王道的なる指導者主義」なる言葉を引ひて余の説を裏書きしてゐるのである。カーライルが生きてゐたならば彼はヒトラーやムッソリーニを「泰西の帝王としての英雄」として英雄崇拜論の祭壇に祭つたであらう。王道、換言すれば新民主主義は

最も古くしてしかも最も斬新な東洋的全體主義であるのである。こんなに道は近きに在るのに、何を苦んで競うて西洋の糟粕を嘗め、ルソオを禮讃して孔子になぞらへ、主權在民説を渴仰しながら、しかも尚ほ衆庶を後知後覺、不知不覺と貶して、ソ聯の強權政治を冀ふの矛盾と昏迷とを犯し、マルクスを禮讃して一方共產主義と社會主義、他方聯露容共、吾中國のソ聯合併と剿共との間に斷續彷彿するの必要があらう。

尚ほ余輩の知る限りに於いて全體主義は個人を抹殺しようとするものでなく、「自己實現を通して興邦へ、興邦を通して自己實現へ」といふ建前を取らねばならぬものであり、また淺薄な唯の獨裁、官僚獨善、衆庶の無視を謳歌するものではないから、東洋全體主義は東洋中道全體主義であらねばならぬ。されば新中華民國が合衆國制を採用するにせよ、單一國家の形式を採用するにせよ、全體主義的總統國家の性格を帯ぶべきことは必然である。かうなればもう軍政期でなくつて訓政期にあるとして、しかも社會の現狀が到底共和立憲國の公式を援用し得ない新中國に、適切な政治機構を供することが出来

ると思はれる。かうなれば新中國も久遠實成家族的全體主義、皇道國家たる本邦とその志向を等しくし、獨伊と世界觀を等しくし、國民戰線従つてまた防共戰線に参加することが出来る。こゝに吾人は日支提携して東亞新秩序を建設する内に新中國の民族主義を最も大きく生かすと云ふ契機を掴み得るのである。

最近帝國議會に於いて全體主義と皇道との異なる所以を高調する論議を聞いた。之は恐らく行き過ぎを警戒したものであり、筆者が夙に日本中道全體國家主義(拙著、「雄邦日本の東亞復興」第五編第七章)を提唱してゐる所以と一致する。想ふにヒトラー、ムッソリーニは伊尹のやうに孟子のいはゆる聖の任なるもの(時類を救ふ英雄)であり、王道は聖の時なるもの(古今に通ずる道)であつて、後者を優れりとし、萬邦無比の我が皇道に至つては他の比籌を許さないものである。泰西全體主義は東洋特に我が國に學ぶ所多く、國民戰線に立つてゐる諸國は吾人と有機的世界觀に於いて靈犀相通するものあり、防共の盟邦であるばかりでなく、實に師弟の關係にあるのである。従つて東洋中道全體主義を意味する新民主主義は泰西

の全體主義と相呼應して、東亞復興、道義世界建設に邁進することが出来る。

#### ハ 東亞新秩序の創建

吾等は今次の大變が國際政治問題から生起されたことを熟知せねばならない。國際政治問題とは平易に云へば諸國家の組合せの問題である。こゝに残された西洋史上の民族主義の涉外方面が登壇する。臨時、維新兩政府治下にある中國青年の最大の悩みがこの點に係つてゐるのである。彼等に今迄の孫文主義に代はるべき新光明を與へ、その熱情を動員し、その悩みから彼等を蟬脱せしめ得るか否かに東亞新秩序建設の成否が賭けられてゐるのである。この國家の組合せ問題に關し北京政府は當初の聲明に於いて漫然國際親善の増進を説き、抽象的國際主義に把住して居つた。この點は吾人の尙早く思つた點であるが、その後日本政府の事變處理に關する説明が次々に現はれるに伴れ、臨時、維新兩政府は無留保の賛成をそのスポークスマンの口を通して表明した。従つて事變處理問題の中核たる國家の組合せの問題、

特に東亞新秩序建設の問題は日本政府の最近の諸聲明中にその回答を求めなくてはならないのである。ストリー教授は、「世界の現勢に鑑みれば忠誠及び熱情の一大蓄電池は民族主義の専用に供され、國際主義は國際問題を調整するに至るべき運命をもつてゐるかの觀があるにもかゝらず、その推進力たるべき同種の忠誠及び熱情の蓄電池を有してゐない」と言つてゐる。新民主主義の中に取り容れらるべき東亞新秩序體制がこの蓄電池へと電流を通はせ得るならば新民主主義は始めて起ち上ることが出来るのである。

さて前述の(イ)(ロ)の二點も東亞新秩序に外ならないが、こゝでは残された國際政治上の意義に於ける東亞新秩序に論及する。この新秩序なる文字は誠に漠然としてゐる。當局も之を認め、その漸次に發展すべきことを説かれた。しかし吾々東亞新秩序を熟知してゐる者には新秩序の意味は日星の如く明らかである。舊秩序とは何であるか。

その第一は國際聯盟規約、不戰條約、海軍軍縮條約等に表現された一般國際平和機構である。この機構は超大

既成飽和帝國主義國の英、米を主とし、フランスを副とし、彼等の剩す所なき領導下にヴェルサイユ體制の存続、世界の現状維持を克ち得ようとしたものである。聯盟規約第十條はその中核であるが、これは占席競争に於ける一秒の先順位を神聖化しようとする愚劣な規定であつて、聯盟は現状維持國の傀儡となり終つたのである。自由主義、資本主義體制の日本は滿洲問題までも提げて行つて、自己を忘れ、東洋を忘れ、一般抽象普遍原則に照らして支那と列國會議の前で果てしなく争うたのである。八族一宇皇道國家の面目を奈何。記せよ、政治不平等條約の平均壽命は宇宙原則に従へば滿二年に過ぎないことを。滿洲から響く世界大維新の曉鐘に超大ドイツは立ち上り、戰勝國は灰のやうに舞つた。之に伴れて聯盟は頓落し、軍縮秩序は破綻した。

舊秩序の第二は太平洋關係を基調とする特殊極東平和機構で、九ヶ國條約、四ヶ國協約、その他支那關係政治條約に體現されてゐる。その内容は東亞に君臨した絶對領導權者米國の極東政策をそのまま盛つたものである。こんな場合に自由主義的、資本主義的體制の日本は、自

ら歐米に追隨し支那の歐米依存に拍車したのである。その後になつて日支相對で交渉をしようと思つても支那は之を拒んで問題をジュネーヴやワシントンへ運んだ。かやうにして日本存立の要件である東亞の安定など一切は抽象原則たる米國の軌道内に解消し去つた。以上第一第二の兩秩序の背後に英米佛等國際金融資本主義の潜在することはいふ迄もない。

舊秩序の第三は孫文主義に現はれた聯露容共で、延いては第七回コミンテルン大會のドイツ、日本への攻撃策中の決議、中國共產黨の八一宣言に現はれた抗日救國人民戰線結成の決議に基づき西安事件後國共合作が出来たことである。

舊秩序の第四は以上を背景とし、國民黨政權が支那に傳統的な夷征夷、遠交近攻の策を弄し自分勝手に日本を敵國として邁進して來たことである。

そこでこの反對を意味する東亞新秩序に於いては、東亞は滿洲國と同様に、一般及び極東の平和機構から引き抜かれねばならぬ。新中國は國際聯盟から脱退し、九ヶ國條約を十割事情變更の原則に従つて破棄せねばならぬ。

租界治外法權等の半植民地體制や英米資本主義の覇權から脱せねばならぬ。親共滅黨、聯日興邦に進み、日、獨、伊、滿防共協定に参加せねばならぬ。更に政治、經濟、文化の自立性を極度に恢復し、新中國が日本及び滿洲國と東洋意識に立つて團結し、將來永劫に東亞内の内戰を罷め、相携へて共存共榮の道程に上らねばならぬ。その結果として採用せらるべき東亞の大憲章では、日支滿三國の一體性が高調されると同時に、三國の全體主義世界觀に於ける價値の序列が容認され、この基本關係が一切の國際關係に優位することを宣明しなければならぬ。滿洲國は日露戰爭に於いて東洋的東亞保全に盡した日本の戰勝記念碑であり、蔣政權を傀儡とする歐化力將又西力との戦ひに於いて吾人が東亞復興の鍵鑰として戦ひ取つたものであるから、黎明する東亞新秩序の儀表として新中國は之を承認すべきである。新中國の新政權が未だ自立しない今日、ソ聯の中國侵入、中國共產黨跋扈の現状から見れば防共協定に軍事合作を伴ふべきことは當然であり、之に必要な大なる國防體制の支持に必要な東亞的廣義國防計畫、經濟の樹立も亦缺くべからざる要件である。

である。帝國政府が昨年十一月三日の聲明に於いて「帝國ノ冀求スル所ハ東亞永遠ノ安定ヲ確保スベキ新秩序ノ建設ニ在リ、今次征戰究極ノ目的亦此ニ存ス。コノ新秩序ノ建設ハ日滿支三國相携ヘ、政治經濟文化等各般ニ互リ互助ノ關係ヲ樹立スルヲ以テ根幹トシ、東亞ニ於ケル國際正義ノ確立、共同防共ノ達成、新文化ノ創造、經濟結合ノ實現ヲ期スルニ在リ、是レ實ニ東亞ヲ安定シ、世界ノ進運ニ寄與スル所ナリ。」と述べ、十二月二十二日發表の近衛首相の對支國交調整方針談に於いて、當局が滿洲國の承認、防共協定及び防共駐兵等に論及した事などは體系化してみれば以上の趣旨に外ならない。聯日興邦を標榜する新中國政權は無保留に之を支持してゐるのである。新中國青年の抱いてゐる民族主義の問題は人々の懐みとする所であるが、舊中國は既に第三インダ、人民戦線、金融的資本主義的帝國主義と連絡してゐることであり、彼等も民族主義が自然であつても、最終ではないことを知つてゐるのである。右の國際組合せを選んだ結果今次の事變となり、その結果新中國政權の樹立を見た

のであるから、中國の民族主義が著るしく歪曲されて三日月型民族主義となつてゐる際、彼等は與へられた環境の下に於いて如何すれば最も大きく中國の民族主義を生かす得るか云ふことを熟慮すべきである。近衛首相が「支那の民族的熱情を認識し、支那の獨立國家としての完成を必要とすることに於いて日本程切實なるものはないのであります。」と述べた言葉は充分玩味すべきである。

胡適氏は世界には散砂の如き六十餘國があるのみと云つたが、古哲は事に本末、終始、厚薄の別あることや、親仁善隣を教へてゐる。誤りなき原理は、既に一度述べたやうに具體的國際主義的民族主義でなければならぬ。孫文は日本が東洋の楯であることを認めた。楯を取除いた上で赤化歐化の鋭鋒を引き寄せたのだから、驅日興邦が滅邦滅種となるのは當然である。新民主主義は興邦を通じて興亞へ、興亞を通じて興邦へと主張するものである。

以上が余の把握し得た新民主主義であるが、實際、以上は新中國創建の憲章であり、新民主會の實踐綱領である。

と見て大過ないと信ずる。

### 九 東亞協同體の説

この言葉は民族主義を揚棄する爲めに、全體主義世界觀の要諦を充たす爲めに、東亞の一體性を強調する爲めに、按出されたものと思はれる。論者の説く所は區區に互り往々觀念的空想的な點もある。想ふに日支國交調整方針として急に按出されたものに過ぎず、その體現を將來に期待されるものはむしろ協同體以外のものであらう。東亞を先天的有機的生命體である全部と立てて、日本といふ最高絶對の普遍民族我を東亞の部分たる表現人と見るのは不當である。事實上支那大陸は準軍政下に在り、日本の意欲が熾烈に働きかけてゐるのであつて、現状は日本の秩序の大陸反映であり、寧ろ皇道の光被と見るべく、同胞は自肅して武徳の後楯となり、同時に善隣の民の父兄となつて輔導し、萬民輪黨の道を誤らぬやうにしなければならぬ。當局が新秩序、互助連環の關係、連絡體等と云うて、協同體と云はな



たゞ日滿支が皇室を全く異にし、言語・歴史・傳統を殆んど異にしてはゐるが、人種・文字・宗教・風俗習慣を多く共通にし、地理的・經濟的一體性を持つてゐるのは、顯著な近親民族と云ふべく、その團結と云ふ漠然とした意味で東亞運命協同體など云ふのは決して差支へないと思はれる。この事實は將來文化的提擧に依り發展強化されて行き、東亞新秩序が渾然融和して一體をなした東亞を産出し、東亞がいはゞ混成に入るときはじめて眞に具體化されるのである。尙ほ固有の本然の大東亞に東力東漸を齎らし、今日の小東亞即ち日、滿、支那本部が大東亞に飛躍するとき之を東亞協同體と呼ぶことにするならば更に有意義であらう。(外交時報三月一日號所載「大東亞主義の提唱」參照)

一〇 結 論

西洋史に見ゆる民族主義、民主主義、社會主義は、支那革命史上の歪曲されて毫末も創意のない孫文主義即ち三民主義とは嚴に區別すべきである。前者は正しく把握され、十全に認識された環境に有意義に適用されねばならぬ。之に反し北支臨時政府が云ふやうに孫文主義は、之を全く抹殺し去らねばならぬ。新民主主義は、今次の支那事變を結果した舊秩序に代はつて、北支臨時政府に體現された新秩序の大憲章であり、これら政權の根本的政治綱領である。この主義の内には現在の日本の東洋的意欲、日本的、具體的國際主義が潑刺と動いてゐるのを見逃せない。新民主主義は傳統的東洋精神への復歸、東洋中道全體國家主義の發揚、東亞新秩序の創建を中核とするものであつて、その實踐口號は次の如く指定されねばならない。

自己實現を通して興邦へ、興邦を通して自己實現へ  
興邦を通して興亞へ、興亞を通して興邦へ  
興亞を通して眞正國際主義に合致する世界新秩序の建設へ、世界新秩序を通して大東亞協同體の完成へ  
(筆者は北京新民學院教授、法學博士)

官廳編輯圖書目録

▼豫に臨時憲法政策(農林省編) 歐洲大戦中に於ける獨・英・米三國の臨時憲法政策を詳説せるもの。臨時に關係法令の全文を譯出しあるひは參照してあますところが無い。我が國現在の戦時下に、直接食糧問題の苦痛は味はつてゐないが本書の如き一讀の要があらう。(第1三三頁、定價三圓、發行、東京市神田區神保町三丁目三三三〇番、東京市神田區神保町三丁目三三三〇番)

▼米國ニ於ケル絹物關係採取(農林省編) 米國に於いて標記の規則が公布されたのを機として調査したもので、先に發行された「米國ニ於ケルレイヨン關係採取」取縮規則と織物内容表示問題」の續編調査である。(第1一〇三頁、定價七十五圓、發行、内閣印刷局)

▼支那編輯國義談(第七輯) (海軍省海軍軍部普及部編) 今次事變に於ける海軍將兵の勇戰奮闘ぶりを輯録せるもの。本輯には有名な大長節の漢口大空戦、上海陸戰隊の激戦等九篇を収む。(第1八頁、定價十圓、發行、東京市神田區丸の内二丁目九ノ内海軍省)

▼文部省推薦圖書紹介

が時局に鑑み文字通りの國民教科書たらしめんとして執筆したものであつて、その所説の中心とする所は國史を貫いて躍動する一君萬民の思想である。兎もすればこの種の書は抽象的閑文字に墮して感銘を讀者に與へることが少いものだが、本書はよく史の上の活事實を捉へ來り、極めて判りやすく且つ感銘深い文章を以つて書かれてあるので、讀者をして自ら感奮せしめる迫力を有つてゐる。(第1三〇一頁、定價一圓、發行、東京市日比谷区大塚日新館)

▼小島の春(小川正子著) この本は岡山縣邑久郡長島に在る國立療養所愛生園に職を奉ずる女醫官小川正子氏が、四國や中國の山や河を越え渡り、或ひは瀬戸内海の小島を舟にゆられて訪れて、世間から見離された憐れな人々に救ひの手をさしたのべた。血と涙に染んだ救済の記録である。

意注御	所込申	價定	週報
▲本誌より複製の場合「週報」の旨を明記し、且つ複製部を内閣情報部庶務課第三課に送付下さい	内閣印刷局發行課	一 部 五 圓 二 十 錢 一ヶ年(前金) 二圓四十錢 (外埠郵便に依る場合は一ヶ年四圓八十錢) 中ヶ年分未配送御希望の方は一割五錢の割合を以て前金を送へ御申込み下さい	昭和十一年五月七日出版發行 編輯部 内閣情報部 東京市神田區永田町 印刷部 内閣印刷局 東京市神田區大手町
▲本誌の無償複製は郵費を附して送ります	全國各地官報販賣所		
▲即見の複製を希望する場合は郵費を附して送ります	東都書籍株式會社		
▲複製を他人へ送りの場合は郵費一割五圓を以て前金を送ります	各書店・驛賣店		









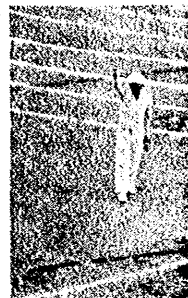
週報

昭和十二年十月十七日 第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日発行)

# 人的資源の確保

傳染病の豫防に

## 三共内服ワクチン



三日の内服・約一ケ年有効

—壁島博士監製—

- チフス 内服 ワクチン 1人用 ¥.20
- 赤痢 内服 ワクチン 1人用 ¥.20
- 疫痢 内服 ワクチン 1人用 ¥.16
- コレラ 内服 ワクチン 1人用 ¥.24

(説明書進呈)



東京・室町 三共株式会社

内閣印刷局印刷發行

(判LA51格規定國はき大の書本)